

# 逆引きテクニックマニュアル

2024/03/03

 (ページは追加方式で登録のためこのメニューの順番とは異なりますので目次からの相互リンクで移動してください)

従来のマニュアルを基本の詳細マニュアルとし、ここでは部分的なテクニックのみを記載していきます。

**目次 1** (類似項目を追加していきますのでページは任意に変更されます。) ●メール周知済、最新登録、・作成予定

## メイン画面編

- [ワーク画面と業務日誌相互間コピー \(業務日誌欄の効率的修正\)](#) : ワーク欄を使って簡単に修正を行う - 1
- [業務日誌欄とワーク欄の相互コピー \(ショートカット\)](#) : ワーク欄を使って簡単に修正を行う - 2
- [時間の取込と設定](#) : いろいろな時間の設定方法、他のプログラムからの異なるフォーマットの時間取込
- [日付 \(期間\) 検索](#) : 日付による検索と範囲指定した検索
- [登録時の時間の取り込み](#) : 現時間への変換取込、そのまま取り込み
- [絞り込み検索](#) : メイン画面での簡単な絞り込み
- [先読検索](#) : 先読み検索による入力支援
- [コールサイン欄での検索](#) : 交信状況、郵便番号、IOTA、ゾーン、GL、ZA、温泉地、道の駅、日付
- [LoTW、e Q S L 等への自動送信 \(1~4\)](#) : 簡単に送受を行う、および、ダウンロードデータ処理結果の見方
- [DXCCリストの状況を確認する \(1 ~ 2\)](#) : コンファーム済、Q S O 済、年間 D X C C などをグラフ数値で確認する
- [「年間DXCC、F T 8」等各リストメンテナンス \(1 ~ 2\)](#) : リストがおかしい場合の補正方法
- [画像管理](#) : 登録する・見る
- [バージョンアップの仕組み](#) : 各データのアップデートの仕組み
- [e Q S L 管理](#) : 簡単に送受を行う
- [J A 局の免許状況、J C C、住所、調査](#) : 郵政省のホームページの活用
- [グーグルマップとの連携](#) : 相手のロケーション等近辺表示
- [緯度・経度からの距離ビーム角度計算](#)

下線行への移動方法 : [ クリック] 又は [Ctrl] + [ クリック] で直接移動が可能。  
移動先からは右上等の [目次\*] を [ クリック] 等で移動(戻る)  
本文中にも項目間の移動リンクがあります。

## 目次 2 (類似項目を追加していきますのでページは任意に変更されます。リンクで移動してください。)

- [DXCCのビーム角度と距離の精度アップ](#)：初期は東京近辺となっていますが、これをローカル近くに変更します。
- [R T C画面](#)：設定と位置確認
- [地図画面](#)：ロケーション表示とG Lから過去の交信局を表示
- [画面位置設定](#)：各画面の表示位置を設定手順（- 1、- 2）ツール編も参照（移動先からリンクしています）
- [L o T W等への自動登録](#)： [l o t w等への自動登録方法を記載](#)
- [e Q S Lへの登録](#)： [e Q S Lへの自動登録方法を記載](#)
- [クラブログ等への自動登録設定（1~4）](#)： [クラブログ等への自動登録方法を記載](#)
- [E Q S LのA D I Fファイルへコメント添付](#)
- [クリック位置と同一データの検索](#)
- [バンドスコープ画面の活用](#)（バンドスコープからの検索）
- [オプション画面の位置設定](#)
- [ファイル内容確認](#)

### 環境等設定編

- [B G A L O G初回インストール時の設定事項](#)：P Cにインストールするファイルや設定
- [無線機コントロール](#)：無線機別設定
- [C I - Vからの周波数とモードの取り込み](#)：L I F - 5 9、I C T - 1 8 (CT-17)

## 目次3 (類似項目を追加していきますのでページは任意に変更されます。リンクで移動してください。)

### テルネット編

- [ペディション局等の抽出](#) : 年間ニュー、クラブログ登録、ペディション局、ウォンテット局で「星取表」未QSO局を抽出
- [DXCC穴埋等ニューの抽出](#) : DXCCニューの局を抽出
- [DX穴埋ニュー、モードバンドニューの活用](#) : DXCC登録：Notコンファーム局を一発抽出
- 交信状況表示やリストが不一致となった場合 (FT8、年間ニュー、DXCC)

### FT8編

- [FT8 \(4\) 等の取込周波数](#) : キャリア (基本) 周波数の取込 (2ページあり)
- [年間QSO、DXCC欄の整合](#) : DXCCリストとFT8画面の内容が異なっている場合の整合方法
- [IC-7851等の最新機種でのコリジョン \(衝突\) 防止](#) : 桑原OMのCT-17を利用しての設定方法例
- [FT-DX101でFT8](#) : リグの設定、JTDX等、設定方法 (2ページあり)
- [FT8からのコールサイン取り込み時の周波数の扱い](#) : リグの設定、JTDX等、LOG間のいずれかが非同期の場合の設定方法
- [FT8デコード](#) : CPUの能力とデコード設定について
- [FTデコード取込画面](#)
- [コムポートが1つしか無い無線機でのFT8やCW、SSB、等をコントロールする方法の提案](#)
- [JTDX、WSJT、BGALOGの各データの整合](#)

### ペディション画面編

- [ペディション画面](#) : 操作

## 目次4 (類似項目を追加していきますのでページは任意に変更されます。リンクで移動してください。)

### 印刷編

### ツール編

- [画面の表示位置、標示・非表示、調整したい：画面が再表示ができなくなった、現在表示の位置を記憶させておきたい等](#)
- [外部ソフト \(ADIF7ファイル\) からの取り込み、デュープチェック](#)

### エラー編

- [未解決エラー：TCP/IP接続等](#)
- [ヌルチェック等エラー対策：ヌルチェックエラーの発生原因と解決方法\(エラーの発生しない正しいデータとするためのチェック\)](#)
- [ワンドライブの弊害 \(毎回起動の都度バージョンアップが表示され、バージョンアップ直後はo kであるが再起動でバージョンが古くなる\)](#)

### その他

- [複数無線機のコントロール：複数の無線機をコントロールする当方の事例を紹介](#)
- [バックアップと回復：編操作ミス、等によるデータが壊れた場合の回復方法 \(データ復旧マニュアル.pdfにも詳細があります。\)](#)

チェックに注意(赤色は表示の時間で北-)、日時の[CP(北-,ペースト)]はどの位置で実施しても日時全体としてとらえてコピー等ができます。



ワーク欄

**(日付専用ボタン)**

**業務日誌 & ワーク欄 欄相互コピー**

**ボタン**

- ↑ = 業務日誌 ⇒ ワーク欄 (日時欄)
- ↓ = 業務日誌 ⇐ ワーク欄 (日時欄)
- Edi = 修正画面で業務日誌を修正
- Clp = クリップボードの日付をワーク欄へコピー (Eqsl等⇒BGALOG日付形式へ自動変換)
- 日付⇒ = 日時修正マニュアル表示 (オンラインヘルプ)

**(ショートカット)**

**業務日誌 & ワーク欄 [全項目共通]**

① [Ctrl] + [🖱️ クリック]

クリップボードへコピー

② [Shift] + [🖱️ クリック]

クリップボードから張付

③ [Ctrl]+[Shift]+[🖱️ クリック]

同一項目間コピー

**(詳細次ページ)**

(日付欄を含む)

業務日誌欄

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	フワリ...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L	e	備考1	IOTA	JCC	GL	Q	申請	
▶	A25RU	2021/03/25 11:32	FT8	21.095.0	-10	-13	A2	402	RUSSIAN DXPE	BOTSWANA		C	AF-38				E	LOTW=OK					KG36GW	

クリックで行全体をワーク欄へコピー (全複写 (F5)) します。メイン画面内のワーク欄と業務日誌間の相互で使用できます。(詳細は次ページ)

操作	基本	クリック場所	コールサイン	日時	その他の項目	記事
<b>[Ctrl] + [Shift]</b> +	へ コピー & 張付け	ワーク欄	業務日誌欄書換 登録内容確認有り	数字部分 = 業務日誌欄へ日時書込み	位置の項目と同一の項目欄へ相互コピー	コールサイン欄、日時欄のみ動作が異なります。
		業務日誌	ワーク欄へ行全体コピー	業務日誌欄 = ワーク欄へ日時書込み		
<b>[Ctrl] + </b>    ([Ctrl] + [C])	へ コピー	ワーク欄	へコピー	へコピー (年～分全てセット) フォーマットチェック有り	へコピー	操作は全て (クリップボード)経由で実施されます。 全複写は[▶]の列部分をクリック
		業務日誌	へコピー (ワーク欄へもCallのコピーのみ実施)			
<b>[Shift] + </b>    [Ctrl] + [V]	から 張付け	ワーク欄	から張付け 登録内容確認有り	から張付け (年～分全てセット) フォーマットチェック有り	から張付け	
		業務日誌				

コールサイン欄と日時欄のみ記本部分と異なる動作があります。

**注：コールサイン欄**：先読み設定の場合はNW検索は行いませんが自動で同一局を抽出します。

日時欄：いずれのコンボボタンをクリックしても同様の動作となります。

また、▼部分は数値変更となり、日付形式でない場合はエラーメッセージを表示します。

操作欄：上段は=の下段に類似していますが、参考であり全く同じではありません。

年～分全てセット：いずれの部分でも数字の部分をクリックすれば同様の動作となります。

= クリップボード

= マウス左ボタンクリック

**行全体を複写**

コールサイン	日付 時間
BH4BUI	2021/04/15 02
W1YY	2021/04/15 02
RD30D	2021/04/15 01

## 時間の取込と設定



現時間  = 登録時に設定時間に関係なく登録時の時間になります。  
 = そのままの状態に登録します。

注意 コピー時などの状態により自動的に変更になります。



## 時間の変更方法

### ・プルダウン選択

それぞれのプルダウンメニューから選択します。



### ・現時間取込

**現時間** をクリックで現在の時間に書き換えます。

### 業務日誌から取込

業務日誌の日付部分 **2020/03/06 07:21** をダブルクリックでその時間を取り込みます。

### 他のソフトの日付から取込

06Mar2020  
07:20

他のソフトの日付をクリップボードにコピー後 **Cin** ボタンクリックで自動的にB G A L O Gの時間に変更して取込

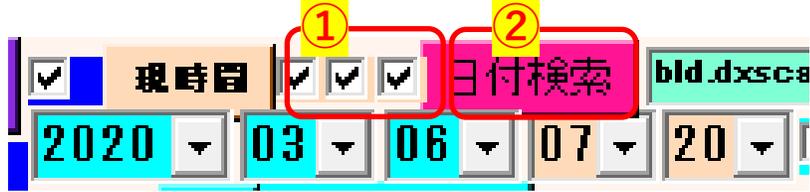


M A R等が月に自動変換されフォーマットも変更して取り込みます。

2020 03 06 07 20

# 日付（期間）検索

年、月、日を指定した検索 ①=左から年、月、日

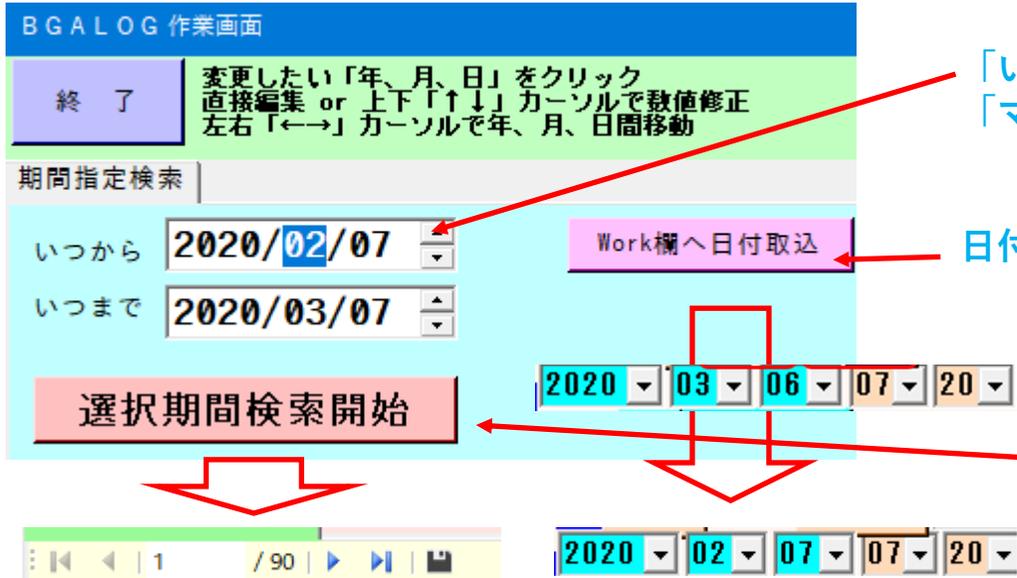


- ①で必要な部分のみにチェックを入れて②の日付検索をクリック（組み合わせ自由）
- 年月日の日付指定検索：全てにチェック
- 年指定：年にのみチェック
- 月指定：月にのみチェックで年にかかわらずその月を検索

# 範囲を指定した検索



「期間指定検索」で範囲を指定した検索ができます。



「いつから」「いつまで」の文字をクリックして「直接修正」または、「マウススクロール」で日付を変更できます。

日付取り込み = ワーク欄にその日付を取り込みます。

選択期間検索開始：メイン画面に交信局を抽出しその件数が表示されます。

● **登録時の時間の取り込み**：現時間への変換取込、そのまま取り込み

**チェックボタンのカラーに注意（□=ブルー、レ=レッド）**

- 1 起動直後：環境設定内容への登録の通りとなります。
  - 2 業務日誌からの複写時：チェックが入り現時間登録となります。
  - 3 業務日誌への登録後のモード：環境設定内容への登録の通りとなります。
  - 4 業務日誌からの複写時：チェックが入り現時間登録となります。
  - 5 上書きボタンクリック時：オプションにかかわらずそのままの時間で登録
- ・ 環境への登録：オプションにかかわらずそのままの時間で登録



登録時の時間に変更登録



登録時に表示通りの時間に変更登録

巖時間ボタンクリック：  
クリック時の時間に変更



直接書き込み

ソート番号 ▲	項目	設定データ（直接修正可能）	説明文
31000050	StartTime	0	現在時間の基本部分の扱いを設定。0 = 現在時間、1 = そのまま登録

オプション設定画面

① メインオプション



各登録時



登録ボタン押下時の時間の扱い  
□ = 交信の都度登録：登録時の時間に自動変更して登録  
レ = 手書き中心：表示時間を未変更で登録  
(レ：現時間にするには現時間ボタンの押下が必要)

## 絞り込み検索：メイン画面での簡単な絞り込み

複雑な検索は「⑩ 複合検索&書き換え」で実施しますが、メイン画面でも絞り込みが可能です。

### 実施の流れ

#### ZD7、CW、10MHzをAND検索の例

- ① 条件設定  条件設定 で =AND、レ=OR] いずれかを選択
- ②  絞り込み検索 に  チェック
- ③ Prefix  
ZD7 プリフィックスに [ZD7] を入力して上の [プリフィックス] をクリック
- ④ CW  
モードの [CW] を選択してその中の [検索] [検索] を選択
- ⑤ 検索周波数を [10.] に入力してその中の [検索] [検索] を選択
- ⑥  絞り込み検索 のチェックを外すと絞り込み検索が完了します。

②~⑥の間に条件を入れ検索行為で完了です。

③~⑥については2件以上の条件を入力します。1件でも検索できますが、意味がありません。

入力欄の上が [ボタンの場合はクリック] し、プルダウン項目の場合は検索を選択します。

※ コールサイン欄は絞り込みに使用できません。



### 検索開始

絞り込み検索

条件入力後  
&上の  
ボタンor検索を選択

(項目選択は順不同でOK)



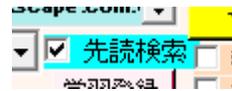
チェックを外し  
検索を終了

絞り込み検索

### 検索結果

コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HI
ZD7XF	2012/03/01 21:39	CW	10.120.9	59
ZD7X	2008/06/04 20:59	CW	10.118.0	59
ZD7ZA	2004/12/29 18:31	CW	10.109	59

# 先読検索：先読み検索による入力支援



チェックを入れると一文字入力毎に先方一致で検索が実施されます。

目的の局が表示された時点で [↓↑] キーまたはマウスでクリックでそのコールサインが取り込まれます。

J 5 まで入力時

希望の局まで [↓] キー

エンターキーで取込・検索が実施されます。

完全一致 検索	部分一致 先頭一致 <input type="checkbox"/>	J5					
QRZ <input type="checkbox"/>	HA <input type="checkbox"/>	IK <input type="checkbox"/>	QC <input type="checkbox"/>	DX <input type="checkbox"/>	DN <input type="checkbox"/>	リコール <input type="checkbox"/>	J5C
↑	コールサイン	日付 時間					
▶	J5B	2017/04/10 08:54	C				
	J5UAP	2013/03/28 09:02	C				
	J52HF	2012/04/05 08:45	R				
	J5UAP	2011/03/10 10:00	C				
	J5V	2010/12/29 08:52	C				
	J5C	2008/01/20 08:15	S				
	J5C	2008/01/18 08:33	R				
	J5C	2008/01/14 09:13	C				
	J5C	2008/01/13 08:33	R				

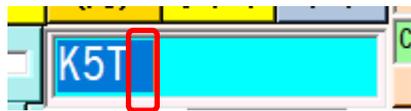
完全一致 検索	部分一致 先頭一致 <input type="checkbox"/>	J5					
QRZ <input type="checkbox"/>	HA <input type="checkbox"/>	IK <input type="checkbox"/>	QC <input type="checkbox"/>	DX <input type="checkbox"/>	DN <input type="checkbox"/>	リコール <input type="checkbox"/>	J5C
↑	コールサイン	日付 時間					
	J5B	2017/04/10					
	J5UAP	2013/03/28					
	J52HF	2012/04/05					
	J5UAP	2011/03/10					
	J5V	2010/12/29					
▶	J5C	2008/01/20					
	J5C	2008/01/18					
	J5C	2008/01/14					

完全一致 検索	部分一致 先頭一致 <input type="checkbox"/>	J5C					
QRZ <input type="checkbox"/>	HA <input type="checkbox"/>	IK <input type="checkbox"/>	QC <input type="checkbox"/>	DX <input type="checkbox"/>	DN <input type="checkbox"/>	リコール <input type="checkbox"/>	J5C
↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波			
▶	J5C	2008/01/20 08:15	SSB	14.			
	J5C	2008/01/18 08:33	RTTY	14.			
	J5C	2008/01/14 09:13	CW	14.			
	J5C	2008/01/13 21:32	SSB	7.			
	J5C	2008/01/12 00:28	RTTY	10.			

## 先読み時の問題回避方法 (すでに入力されている局名より短い局を入力する場合)

次の様に文字列の長さが短い局を入力しようとそのまま [K5T] を入力すると [K5TR] が取り込まれてしまいます。

この場合は [K5T] にスペースを1文字入れてください。



後ろにスペースを入力して検索すると  
スペース自動で除かれ正しい「K5T」  
が入力されます。

完全一致 検索	部分一致 先頭一致 <input type="checkbox"/>	K5T					
QRZ <input type="checkbox"/>	HA <input type="checkbox"/>	IK <input type="checkbox"/>	QC <input type="checkbox"/>	DX <input type="checkbox"/>	DN <input type="checkbox"/>	リコール <input type="checkbox"/>	JA5GZ
↑	コールサイン	日付 時間	モード				
	K5T	2007/11/16 23:01	SSB				
	K5TR	2003/02/16 12:47	CW				

### コールサイン欄での検索 (各テキスト欄での検索も可能)

JA5BGA

JA5

5BG

### 過去の交信状況 (先読み部分一致検索：先読み検索を参照)

コールサイン + Enter = 完全一致検索、  
 同 +  = 先頭一致検索  
 同 +  = 部分一致検索

### 郵便番号から住所

例：799-3111 ⇒ JCC番号、住所、ZA番号がワーク欄に入力され該当のJCC局を抽出

799-3111

Prefix	DXn	名前等検索	マネージ	住所検索	P	ゾーン	JCC
JA	339			伊予市			3810
備考2検索 マルチ T R LOTW e Qカ- 相手							
ZA1569 799-3111=伊予市下吾川							

### IOTA

例：AF-016 ⇒ IOTA欄に [AF-016] を入力し、該当のIOTA局を検索。

AF-016

Prefix	DXn	名前等検索	マネージ	住所検索	P	ゾーン	JCC	GL	IOTA
FR	453			REUNION ISLAND					AF-016
備考2検索 マルチ T R LOTW e Qカ- 相手移動 局移動									
REUNION ISLAND									

### ゾーン

例：AF-39 ⇒ ゾーン欄に [AF-39] を入力し、該当のゾーン局を検索

AF-39 → ゾーン AF-39

### ZA

例：ZA1569 ⇒ 備考欄に [ZA1569] を入力、JCC設定後、該当JCCの局を検索

ZA1569 → 住所検索 伊予市 JCC 3810

### 温泉地

例：YU-3520 ⇒ 備考欄に [YU-3520] を入力、JCC設定後、該当JCCの局を検索

YU-3520 → 備考2検索 YU-3520=いよ温泉

Prefix	DXn	名前等検索	マネージ	住所検索	P	ゾーン	JCC
JA	339			伊予市			3810
備考2検索 マルチ T R LOTW e Qカ- 相手							
ZA1569 : YU-3520=いよ温泉							

### 道の駅

例：38-05 ⇒ 備考欄に [RS-38-05] を入力、JCC設定後、該当JCCの局を検索

38-05 → 備考2検索 RS-38-05=ふたみ

Prefix	DXn	名前等検索	マネージ	住所検索	P	ゾーン	JCC
JA	339			伊予市			3810
備考2検索 マルチ T R LOTW e Qカ- 相手							
ZA1569 : RS-38-05=ふたみ							

### 日付 (6桁以上の入力が必要 YYYY/MM/DD)

例：2020/03/01 ⇒ 先頭から一致した日付を抽出

注意：日付は6桁以上の入力で先読検索

Enterを押すとカレントの局を抽出します。

特定の局を抽出するには [↓↑] + [Enter]

またはマウスでダブルクリック

完全一致検索	部分一致先頭一致	2020/02	
QRZ	HA IK QC DX DN	リコール	
↑	コールサイン	日付 時間	モード
▶	LU3PI	2020/02/29 09:10	FT8
	PY7PX	2020/02/29 09:08	FT8
	JD1BPH	2020/02/29 09:07	FT8
	PY2TH0	2020/02/29 08:55	FT8
	EA8W	2020/02/29 08:34	FT8
	DF7TV	2020/02/27 21:43	FT8

RS-38-05 = ふたみ  
 RS-38-29 = なかやま  
 --- ↑ ---  
 YU-3520 = いよ温泉  
 --- ↑ ---

## LoTW、eQSL等への自動送信 - 1/4

チェックを入れると次のことが出来ますが使用するための準備が必要  
 送受先への登録（パスワード等を使用するための手続きを実施）  
 環境設定（使用宣言、相手から取得したパスワード等の登録）

**登録(F8)** ボタンクリック（FT登録含む）の都度自動的にQRZ、  
 lotw、eQSL（eQSL画像内）へ自動送信（受）実施

送信後はLoTW、eQSLには送信済マーク（L、E）が挿入  
 QRZ、クラブログについては、送受記録は相手方のホームページで確認  
 エラーについては、メッセージ欄等に表示

**自動受信**：検索時に検索する項目を設定

- :QRZ（XML有料登録者：データ量と内容も豊富）
- :HAMQTH（無料：データ量と内容は少ない）

**自動送信**：送信したい各項目にチェックを入れる

- BGALOGへ登録の都度自動送信が行えます。
- QRZ.ログ（XML有料登録者：QRZ内の各種ツールが使用可能）  
登録の都度、自動的に送信します。
- クラブログ（登録者：QRZ内の各種ツールが使用可能）
- LoTW（登録者：QRZ内の各種ツールが使用可能）

### TQSL起動

TQSL.exeを起動（LoTWからのダウンロード等を行います。）

### DLフォルダ～LOG取込

ダウンロードフォルダにあるADIFファイルをBGALOGフォルダに移動して「lotwreport.adi」ファイルから自動的にBGALOGへ取り込みます。（ADIFフォルダにない場合はBGALOGフォルダを検索）

業務日誌取込、等 eQSL画像

WAS、その他のdx管理ボタンが表示されます。  
 ダウンロードデータの取り込み  
 TQSLを起動してダウンロード等を実施

Main Gyomu Option		LoTW 抽出・転送	総務省局検索 <input type="checkbox"/> 停止	全DXCCリスト 保守
But_LOTW_WAS	DLフォルダ～LOG取込	FT8交信データ取込 (WSJTX_LOG.ADI)	カレント局総務省検索	全FT8リスト 保守
TQSL起動		FT8交信データ取込 (WSJTX.LOG～)	JCC未登録局抽出	全JCCリスト 保守
自動受信		登録分DT.TXT～取込 (TXT～)	Google マップ検索 <input type="checkbox"/>	ショートカットキー,DBG修正,マニュアル
<input checked="" type="checkbox"/> QRZ・XML(検索)	<input checked="" type="checkbox"/> QRZ・ログ	業務日誌各項目の幅	<input type="checkbox"/> 現時間表示方法	逆引きマニュアル
<input checked="" type="checkbox"/> クラブログ	<input checked="" type="checkbox"/> LOTW		<input checked="" type="checkbox"/> 先読 一致 検索	

カレントの局を直接送信

● LoTWへの自動登録：lotwへの自動登録方法を記載  
 この場所も確認してください。

eQSL 画像取込 処理

EQSL [R] 受領処理	<input checked="" type="checkbox"/> 左ボタンクリック時自動QSL未発行処理
直接送信	ADIFファイル
<input checked="" type="checkbox"/> QSO登録の都度自動送信	eQSLヒット局QSL未発行
<input checked="" type="checkbox"/> L=UP確認無	eQSL.cc 接続
ADIファイルからの一括取込	画像一括取込処理
未送信データ抽出 ADIFファイル作成	

eQSL

この文字をクリックでEQSL管理へ移動

# LoTW - 2/4 : TQSL.exeにより一括で簡単に送受を行う (メインマニュアルのP 7 1~7 4 参照)

**LoTW 抽出・転送** から未送信のデータ作成 ⇒ アップロード ⇒ ダウンロード 迄の一連を実施

## 送受処理

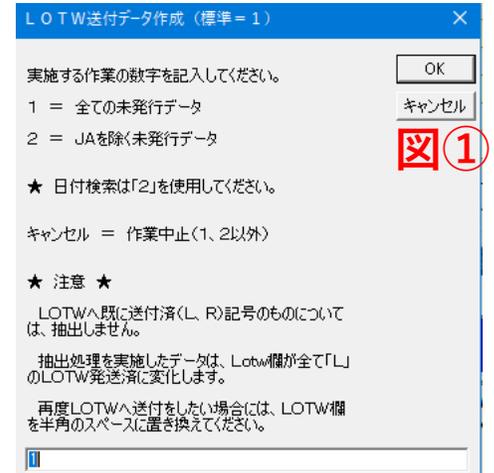


- 1 図①にて [1] を選択して実施 ⇒
- 2 引き続き図②が自動で起動されます。
- 3 図②-1をクリック ⇒ 作成された [C:¥BGALOG¥JA5BGA.ADI] を選択して送信します。
- 4 図②-2をクリックして [LoTW] に接続します。
- 5 LoTWにログオン後、[YourQSO] から [Download Report] でダウンロードします。
- 6 保存 [保存] を選択します。(注意：開かないようにします。)
- 7 以上で [C:¥Users¥ja5bg¥Downloads¥lotwreport.adi] として保存されます。

## 受領登録処理

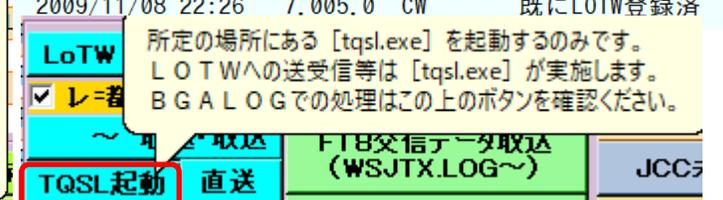
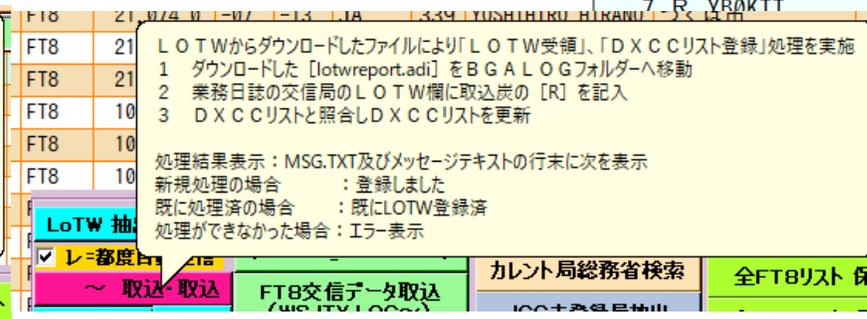
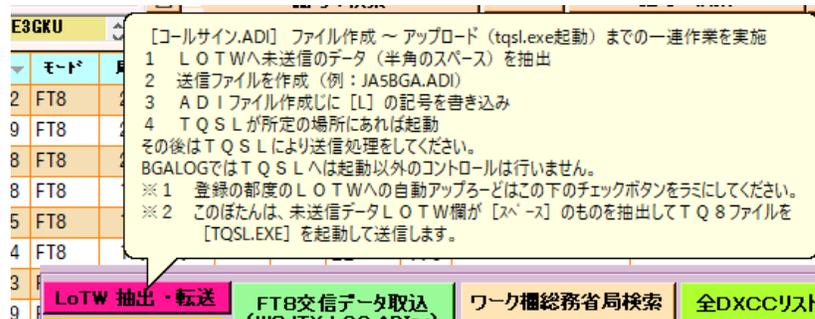
- 8 [DLフォルダ ~ LOG取込] により自動でDXCCリスト等の更新が行われて終了です。

- ※ 重複していてもOKです。右の様に登録済として無視されます。
- ※ 右の画面は一時的に [MSG.TXT] に保存されており [メッセージ欄] や [ファイル内容確認] で確認できます。
- ※ 記号が [R] の場合は処理済でOKですが、記号が [C] の場合は、コールサイン、周波数、モード、時間、の一部が不一致のため、直接手動での修正が必要です。
- ※ 一度、発送したデータを再度送付したい場合は、[L] 欄の記号 [L] を半角のスペースに置き換えると次回の発送に含まれて送信できます。
- ※ この送受方法を用いなくて LoTW等DB処理 により直接送受する方法もあります。



登録が完了しました。次の内容を確認して下さい。  
 (DIGITAL(RT\*, PS\*, RO\*, JT\*, OL\*, FT\*))は全て表現上「DIGITAL」として表示して  
 記号：R = 処理済、C = コールサイン、周波数、モード、時間、不一致、(直接手動

NO	記号	コールサイン	LOTW一致日	時間	バンド	モード	記号内容説明
1	R	0A4DOA	2020/03/06	07:21	7.074.0	DIGITAL	登録しました
2	R	JA3MZG	2019/11/07	01:46	7.041.0	DIGITAL	登録しました
3	R	KG5HTH	2020/03/01	14:15	10.136.0	DIGITAL	既にLOTW登録済
4	R	LU3PI	2020/02/29	09:10	10.136.0	DIGITAL	登録しました
5	R	T88ED	2020/01/18	08:16	14.074.0	DIGITAL	登録しました
6	R	SM6CWP	2020/03/02	11:24	10.136.0	DIGITAL	登録しました
7	R	VR0KTT	2020/02/23	08:08	21.074.0	DIGITAL	既にLOTW登録済
			1999/06/20	17:50	21.000.0	CW	既にLOTW登録済
			2009/11/08	22:26	7.005.0	CW	既にLOTW登録済



# LoTW-3/4: ダウンロードデータ処理結果の見方

## 補正の必要なデータ (要手動訂正)

自動登録: JA5BGAへ

[目次1へ](#)

表示されているテキストデータを送信できます。

自動登録: LOTWにヒットしているデータがBGALOGにない場合  
LOTWのデータをもとに登録しますが、内容が正しいかチェックが必要です。

① メイン画面 | ② IOTA管理 | ③ JCC管理 | ④ 学習管理 | ⑤ DXCC管理 | ⑥ マネージャ管理 | ⑦ LOTW等DB処理 | ⑧ 複合検索 & 書換 | ⑨ マニュアル & WWW接続 | ⑩ **ファイル内容確認**

取込ファイル選択・取込: C:\¥BGALOG\MSG.TXT | 書換登録 | FONT変更 | TXT欄クリア | shift\_jis:932

定型テキスト直接表示: **MSG.TXT** | 登録分DT\_Backup 確認・データ取込 | 業務日誌修正履歴 | エラーテキスト | BGAMANAGER.TXT | BGAGAKUSYU.TXT | 改行位置表示 | ↑ 先頭へ | ↓ 行末へ

当年DXCC.TXT | eQSL.ADI | lotwreport.adi | 自局CALL.ADI | QSLprint.TXT | BGALOG¥wsjtx.log

JA5BGA宛て  
下記内容送信

- ★ 追加登録 要チェック ★ コールサイン = [OH2ZZ] 日付=2020/07/15 02:40 周波数=50.313.0 モード=FT8理由: lotw=有、bgalog=未登録、処理: 自動追加登録
- ★ 追加登録 要チェック ★ コールサイン = [DJ9KG] 日付=2020/07/15 07:38 周波数=50.313.0 モード=FT8理由: lotw=有、bgalog=未登録、処理: 自動追加登録
- ★ 追加登録 要チェック ★ コールサイン = [OH2BU] 日付=2020/07/15 02:12 周波数=50.313.0 モード=FT8理由: lotw=有、bgalog=未登録、処理: 自動追加登録

登録が完了しました。次の内容を確認して下さい。

(DIGITAL(RT\*, PS\*, R0\*, JT\*, OL\*, FT\*))は全て表現上「DIGITAL」として表示しています。)

記号: R = 処理済、C = コールサイン、周波数、モード、時間、不一致、(直接手動で修正が必要です。)

NO	記号	コールサイン	LOTW一致	日	時間	バンド	モード	記号内容説明
1	R	YB6NE		2013/01/16	10:53	21.240.0	SSB	登録しました
2	R	IT9DVZ		2018/02/10	07:39	21.074.0	DIGITAL	登録しました
3	R	PJ4I		2010/10/21	00:08	18.076.0	CW	登録しました
4	R	PJ4I		2010/10/15	11:12	10.112.0	CW	登録しました
5	R	E51AUZ		2019/03/11	06:33	14.005.0	CW	登録しました
6	R	HA7XL		2020/07/09	20:43	10.136.0	DIGITAL	登録しました
7	R	VK3DEK		2020/06/29	12:21	7.074.0	DIGITAL	既にLOTW登録済
8	R	IK2XDE		2020/07/09	21:18	10.136.0	DIGITAL	登録しました
9	R	HB9GZS		2020/07/09	20:47	10.136.0	DIGITAL	登録しました
10	R	US5ZFT		2020/07/09	20:56	10.136.0	DIGITAL	登録しました
11	R	EA7UW		2020/07/11	20:08	10.136.0	DIGITAL	登録しました
12	R	OH2X0		2020/07/07	10:44	50.313.0	DIGITAL	登録しました
13	R	HU1DL		2020/02/02	09:24	10.102.0	CW	登録しました

新規一致: LOTWの登録内容とBGALOGが一致

処理済み: すでに過去にチェックして登録済のため、未処理となったデータです。

14 C HU1DL 2020/02/03 01:37 14.026.0 CW 日付(時間)、モード、周波数、の一部が不一致

----- 上の番号「14」に一致するデータがQSOデータ(業務日誌)内に有りませんでした。

(次の内容をチェックして手動で修正してください。)

- 日付 = 日付~時間までが不一致(分は無視します)
- モード = CW、SSB、RTTY(DATA)、以外
- 交信周波数 = 29.M以上、51.M以上、「.」の無いもの

部分不一致: LOTWの登録内容とBGALOGが部分的に不一致となったデータです。

15	R	HU1DL		2020/01/31	08:38	10.131.0	DIGITAL	登録しました
16	R	HU1DL		2020/01/31	09:04	7.026.0	CW	登録しました

# LoTW - 4/4 : QRZ・LOGBOOKへの登録 (XML 契約者のみ) パスワード

XML Subscriber Lookups: 15585 Label

Biography Detail **Logbook 29998** Web 245

QRZ.COM Latest Contacts for **JA5BGA** at QRZ.com

★ de	date	band	mode	grid	Country	op
BI4VFP	2023-02-02	15M	FT8		China	
JA4LKB	2023-02-01	15M	FT8	PM53px	Japan	Shigeru UEDA
SV2AJX	2023-01-31	15M	FT8	KN101p	Greece	Paschalis Bountoukas
★ VK6DEV	2023-01-31	15M	FT8	OF76	Australia	Phillip A Jubb
ntact						
				<b>JA5BGA</b>	England	NEIL CARR

**LOGBOOK画面**

XML Subscriber Lookups: 15585 Label

**Biography** Detail Logbook 29998 Web 245

Home page : **クラブログ連動画面**  
<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/ja5bga/>  
<http://ja5bga.com/ja5bga/>

CLUBLOG	Worked	Confirmed	Log Search	
JA5BGA	340	340		Go

DX Call	Date	Band	Mode	Entity
BI4VFP	2023-02-02	15M	FT8	CHINA
JA4LKB	2023-02-01	15M	FT8	JAPAN
JA4LKB	2023-02-01	15M	FT8	JAPAN
JA4LKB	2023-02-01	15M	FT8	JAPAN
SV2AJX	2023-02-01	15M	FT8	GREECE
SV2AJX	2023-01-31	15M	FT8	GREECE
VK6DEV	2023-01-31	15M	FT8	AUSTRALIA
G0JHC	2023-01-31	15M	FT8	ENGLAND
SP5ENM	2023-01-25	15M	FT8	POLAND
UR4MSF	2023-01-25	15M	FT8	UKRAINE
RU161 C	2023-01-25	15M	FT8	EUROPEAN RUSSIA

このボタンで設定画面が表示されます。

**BGALOG環境への登録**  
**QRZアクセスキー (API KEY)**

QRZ Logbook API

API Key:  **Show**

このボタンでクリアーに見えます。

コピーして登録 (右にKEY表示ボタンがあります。)

検索用  
送信宣言

送信用

ソート番号 ▲	項目	設定データ (直接修正可能)
02000010	qrzPassword	パスワード
02000019	qrzaccessOnOff	1
02000020	qrzaccess_key	<input type="text"/>
02010010	Memo	1

**説明文**

QRZ.COM (XML) 契約者の方のみ登録パスワードを記入。QRZ.COM未契約者は、スペース or 1=HAMQTHより名前等を取込、0=未取込 (名前、QTH、QSL方法、等を取り込みません。)

1=QRZ.COMのLOGBOOKに自動書込 (アップロード) の実施次の項目と連動。0=未書込

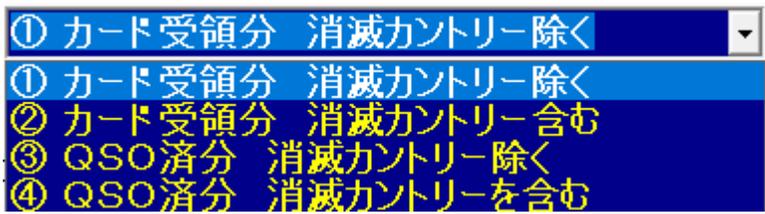
QRZ.COM (XML) 契約者の方のみ登録セッションキーを記入出来ます。セッションキー (例: KEY=ABCD-0A0B-1C1D-2E2F) が入力されているとQRZ.COMのLOGBOOKに自動書込 (アップロード) をします。セッションキーの場所は逆引きマニュアルのLoTW欄をご覧ください。0=未書込

# DXCCの状況を確認する：コンファーム済、QSO済、年間DXCCなどをグラフ数値で確認する



起動直後は右の様にコンファーム済の表示となります。

QSO済や消滅を含めた画面を見る  
次の図③のプルダウンを選択



年間QSO済を含めた画面を見る  
・ 次の図②の年を選択し⑤を選択

メイン画面、複合画面での検索済分を見る  
・ 検索後図②の⑦を選択

LOTWでのヒット分を見る  
・ 図②の⑥-1を選択

デジタル分のみのQSO分を見る  
・ 図②の⑥-2を選択

検索済のデータのQSO数を見る  
・ 図②の⑧を選択

指定年 **2020** 注意 (検索前にチェックが必要) DXCCdata.TXTへ出力する場合 ※ テキストへ出力する場合は、

⑤ ↑ 指定年検索 DXCCカウント

⑥-1 LOTWヒット分DXCCカウント

⑥-2 All Digital分DXCCカウント

⑦ メイン画面検索済 DXCCカウント (抽出機能なし)

グラフMIX欄 レ=表示 ロ=非表示

⑧ メイン画面検索済 QSO数 (抽出機能なし)

DXCC・QSO カウント    ゾーン別・QSO カウント

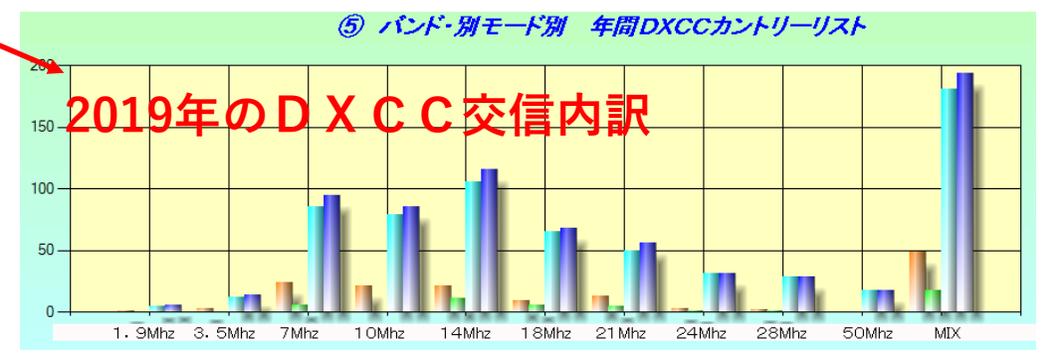
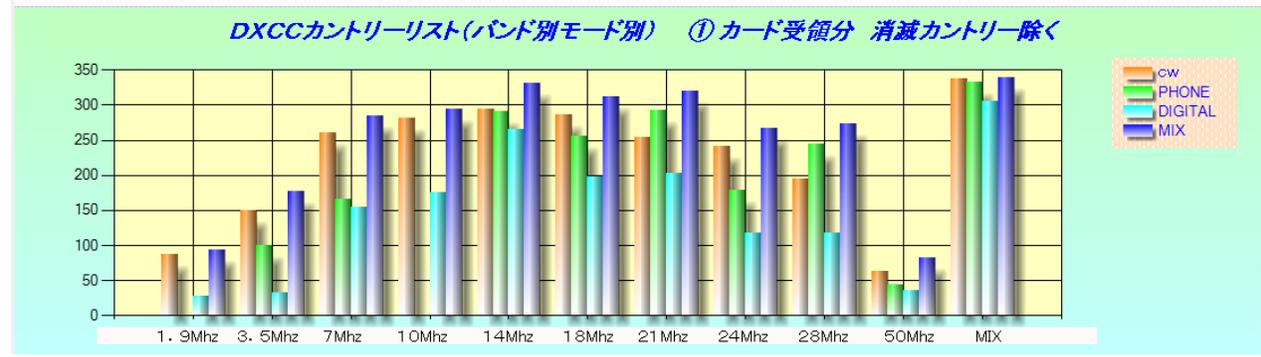
検索対象件数

① カード受領分 消滅カントリー除く

DXCCカントリーリスト登録数		消滅(-)	現存	合計	(未回収総計)
DGCCリスト		62	340	402	
自局 未回収		0	0	0	} 353
受領済		13	340	353	

モード別	MIX	CW	PHONE	DIGITAL
DGCC	340	337	333	305

バンド別	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	(単純計)
MIX	94	177	284	294	331	312	320	267	274	83	2436
CW	87	149	260	282	294	287	254	241	195	63	2112
PHONE		100	166		291	255	293	179	245	43	1572
DIGITAL	27	33	155	175	265	198	203	118	118	36	1328
単純計	114	282	581	457	850	740	750	538	558	142	5012



バンド別	1.9	3.5	7	10	14	18	21	24	28	50	(単純計)
MIX	6	16	339	138	322	93	86	41	50	71	1162

モード別	MIX	CW	PHONE	DIGITAL
DGCC	194	49	18	181

# DXCCリストメンテナンス - 1/2 : DXCC番号によるDXCC補正

- 消滅、ニューDXCCが登録された場合
  - ※ 通常は新しい [BGADXCCLIST.TXT] がフォルダー内であれば自動で更新されます。DXCC番号は唯一無二の番号でありどのプログラムでも共通で使用されています。プリフィックス名やエンティティはプログラムごとに表現が異なっています。

## 手動での修正が必要な場合の修正方法

- LOGのハングアップなどでDXCCリストが壊れた場合 (リストがおかしい場合)
- 消滅、ニューDXCCが登録された場合で自動で実施されなかった場合
  - ※ 何らかの事由で自動修正が実施されなかった場合。

この部分がDXCCリストのベースですので修正等をしないでください。  
不自然な場合は当方へレポートをお願いします。

クリックその後リフレッシュ  
おかしいと思ったら

DXCCグラフ分析画面表示

バンド別	モード別	CW	SSB	DIGITAL
19				
35	XQ6ET	3G0YM		
7	XR2T	3G0YM	CE1URG	
10	XR2T		CE10EB	
14	XQ6ET	CE3BFZ	CE6SAX	
18	XR2T	XR2T	CE10EB	
21	CD1C	CE2SQE	CE2SV	
24	CE3FZ	CE10EB	CE10EB	
28	CA3KHZ	CE3AEZ	T	
50				

プリフィックス～LPの間は修正不可  
★ マンテナンスの実施はメイン画面の「オプション」内にあります。

プリフィックス	Dxno	ゾーン	エンティティ	GL	Time	KM	SP	LP	MIX	SSB	CW	DIG	19	35	7	10	14	18	21	24	28	50	Photo	Bureau	備考
9X	454	AF-36	RWANDA	KI58AA	-7	11317	275	95	R	R	R	R		R	R	R	R	R	R	R	R		Photo		
9Y	090	SA-9	TRINIDAD & TOBAGO	FK90FD	-13	14953	19	199	R	R	R				R	R	R	R	R				Photo	OK	
A2	402	AF-38	BOTSWANA	KG26MA	-7	13046	258	78	R	R	R	R		R	R	R	R	R	R	R	R		Photo	OK	
A3	160	OC-32	TONGA	AG28JS	+4	8239	130	310	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R		Photo	NG	
A4	370	AS-21	OMAN	LL93D0	-5	7261	282	102	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R		Photo	OK	
A5	306	AS-21	BHUTAN	NL47SH	-3	4233	272	92	R	R	R	R		R	R	R	R	R	R	R	R		Photo		
A6	201	AS-21	UNITED ARAB EMIRATES	LL750C	-5	7568	285	145	R	R	R	R	T	R	R	R	R	R	R	R	R		Photo		

自動修正される部分

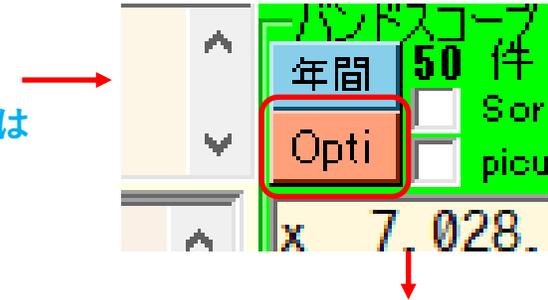
修正されない部分

- ⇒ 新しい [BGADXCCLIST.TXT] があれば自動 (or 手動) で修正されます
- ⇒ 自動、手動、にかかわらず修正されることはありません。DXCC番号を除き、プログラム内の各ツールにより自動修正が可能です。

## 「年間DXCC、FT8」等各リストメンテナンスー 2/2

### ・年間DXCCの補正

業務日誌の削除、モード修正、周波数変更などで年間DXCCがおかしくなった場合には「年間」ボタンをクリックすると当該年の業務日誌を基に年間DXCCリストを再構築します。  
同時に「2019DXCC.TXT」の様に「年DXCC.TXT」を作成します。



作成例

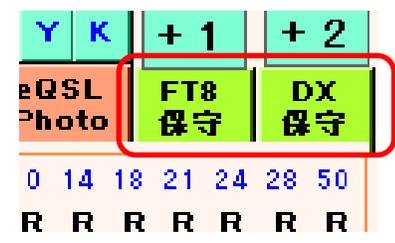
### ・FT8保守

業務日誌の削除、モード修正、周波数変更などでFT8の交信がおかしいと感じた場合は「FT保守」ボタンをクリックすると業務日誌よりFTモードをすべて抽出し、そのデータによりFTモードのリストを再構築します。



### ・DXCCリスト保守

「DX保守」ボタンをクリックすると業務日誌のデータによりFTモードのリストを再構築します。



### ・JCCリスト保守、IOTA保守

JCCリスト内の「DX保守」ボタンをクリックすると業務日誌のデータによりJCCリストを再構築します。  
IOTAについてはツール内に有ります。

交信済データからのJCCリスト更新

交信済データからのIOTAファイル更新

※ DXCCについては上記の他に「ツール⇒DXCC保守」内にも各ツールがあります。

画像管理：登録する・見る（詳細はメインマニュアルP-71~74参照）

eQSLからの画像取込と登録（eQSLへの登録関係が出来ているものとして記載）

- eQSL.cc 接続にてeQSLへ接続
- コールサインのコピー：コールサイン欄をマウスでリバース反転させその内容をコピー
- BGALOGのコールサイン欄に「コントロール」+「V」でコールサイン欄に貼付
- eQSL 処理済登録 EQSL一致 文字記入で受領処理
- **DISPLAY** をクリックして画像を表示 ⇒ 画像を右クリックで名前を付けてコピーを選択
- 名前についてはコピーしたコールサインに変更
- QSLCARD ⇒ TEMP に画像ファイルを移動
- **一括取込** ボタンを押すとDXCC番号やIOTA番号等を付してQSL\_CARD欄に自動的に移動して終了



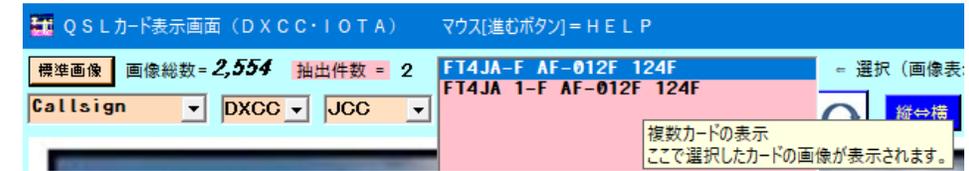
A35JT.JPG ⇒ A35JT-F 160F OC-049-F.JPG  
 (TEMPへ登録) ⇒ (QSLCARDへリネームして移動)  
 コールサインの移動記号 [/] のみアンダーバー [ ] に変換  
 その他はコールサインのみの記入でOK

スキャナーを利用した取込

- スキャナーで読み込んだ状態はA4の画像ですので「ミキッター」などのツールで画像部分のみを切取
- ファイル名をコールサインに変更してTEMPフォルダーへ移動
- 以下はEqslと同様の処理となります。

注意点

- [/] スラッシュがある場合については [ ] アンダーバーに変更
- **一括取込** 処理前にdxcc番号、iota番号、jcc番号、を処理しておく必要あり



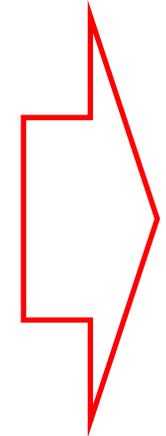
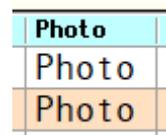
画像表示

次の各場所から登録画像が表示

- [P] ボタンでdxcc番号から表示
- 業務日誌の [Q] 欄の [F] クリックで表示
- DXCC、IOTA、JCCの各リストの [Photo] クリックで表示



GL	Q	申請
HI22NA	F	
QL17CB		
GG67SC	F	



## バージョンアップの仕組み：プログラムや各データのアップデートの仕組み

### B G A L O G . E X E

自動バージョンアップはB G A L O Gとは別にE D X Gホームページの一部に最新バージョンの日付を記載しています。起動時にその日付と使用しているプログラムのバージョンを比較して最新の場合には次の様に最新バージョンと表示します。古い場合にはアップデートをするよう表示します。もし、自動でアップデートができない場合は、手動で「Ver アップ」をクリックすればアップデートが実施されます。

### アップデートを実施するために必要なプログラム

B G A L O Gのアップデートには次のプログラムが必要です。古いバージョンでないか作成日に注意願います。E D X Gホームページに登録しています。

名前	拡張子	サイズ	作成日	時刻
CONFIG	.TXT	3,213	20/02/13	19:13:22
DXBGZIP UP	.exe	23,040	18/09/14	11:16:44
DXBGZIP	.exe	28,160	17/11/16	02:40:02
PROGRAMMAGED	.TXT	100,570	20/02/02	01:18:00

※ BGALOGのアップデートにのみ使用します。(BGALOGフォルダー内に必要)



### その他の日付管理方法

次の様に [UpDate] でフィルターをかけると表示されます。これらは、アップデートした日付などを自動で登録し次回日付でデータを抽出しようとした場合などに読み出されて仕様で気の仕組みとしています。

ソフト番号	項目	設定データ (Max255 Byte)	説明文	分類
20000010	upGakusyu	2020/03/04	学習ファイルのアップデート日を管理します。この日付より新しいデータ「BGAGAKU.TXT」が取り込まれるとアップデートされます。	UpDate
20000030	upManager	2020/03/20 09:43	マネージャファイルのアップデート日を管理します。この日付より新しいデータ「HAM_QSLM.TXT」が取り込まれるとアップデートされます。	UpDate
20000050	KanMente	2020/02/14	環境設定バージョンアップ日付 (この日付より新しい「KANKYOU.TXT」があれば自動更新されます。)	UpDate
20000070	DxccMente	2019/05/30	DXCCファイルバージョンアップ日付 (この日付より新しい「DXCCLIST.TXT」があれば自動更新されます。)	UpDate
20000080	JccMente	2020/02/22	JCCファイルバージョンアップ日付 (この日付より新しい「DXCCLIST.TXT」があれば自動更新されます。)	UpDate
20000090	EtcUpdate	2020/02/05	重要アップデート案内	UpDate
20000210	IotaMente	2019/07/21	IOTAファイルバージョンアップ日付 (この日付より新しい「iotaBGA.TXT」があれば自動更新されます。)	UpDate
20001010	LoTW_Update	2020/03/18 07:36	LoTWへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate LOTW
20001030	G_QSL_Update	2020/03/07 07:05	グローバルQSLへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate
20001050	C_LOG_Update	2020/01/24 23:50	クラブログへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate
20001090	E_QSL_Update	2018/01/29 12:43	E_QSLへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate
20001110	All_Update	2016/04/17 00:00	全項目レポートへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate
20001130	CQ_RP_Update	2019/05/25 04:32	全項目レポートへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate
20001150	A1_RP_Update	2016/04/17 00:00	全項目レポートへの登録最終月日です。(GMT)	UpDate
20001210	Print_Date	2020/01/26 08:49	プリント検索日です。	UpDate PRINT
20002010	DelFileCheck	2020/03	不要ファイルチェック用です。毎月1回不要ファイルをチェックして自動的に削除します。当方で気が付いていないファイルもあると思いますので、BGALOGフォルダー内に用途不明なファイルがある場合はレポート願います。	UpDate
20002030	ReportCheck	2017/03/26	正常状態チェック用：使用バージョンチェックのため自動送信を行います。	UpDate

eQSL管理：簡単に送受を行う（メインマニュアルのP 7 1～7 4 参照）

34000610	eQSLauto	eQSL直接送信
34000630	eQSLpassword	*****

自動送信と個別送信（[eQSL] へパスワード等が登録済であることを前提に記載）

レ = チェックを入れておくと登録の都度自動で「eQSLへ」自動送信

□ = カレントディレクトリーの局を送信

送信後は [E] が登録

T	R	L	e
			E

QSO登録の都度自動送信

EQSLとの連携設定は「メイン画面」マニュアルの「eQSL、CCとの連携」を参照してください。

### 受領処理データの扱い

受領処理の [R] が記入された局は「JCC」等のJARLアワードでは、受領済として扱われます。（ただし、印刷が必要）

DXCC処理においては、受領と認められません。（LOTWは受領扱い）

（次のマニュアルを参照してください）

### 一括受領処理

EQSLからの取り込みは月単位などの取り込みが出来ずアップしている全てのデータからの取り込みのみとなります。そのため、7千件程度あると2分程度かかりますので高速化のために必要な月のみを取り込むと作業が早く終わります。ただし、QSO相手が古いデータを登録した場合はヒットしなくなります。

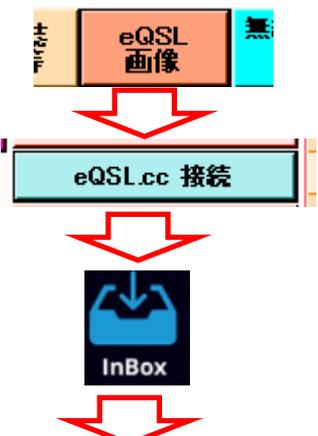
### EQSL マニュアル

2021/09/12

EQSL 画像取込 処理

- EQSL [R] 受領処理
- 直接送信
- ADIFファイル
- QSO登録の都度自動送信
- ADIファイルからの一括取込
- 未送信データ抽出
- ADIFファイル作成
- 左ボタンクリック時自動QSL未発行処理
- eQSLヒット局QSL未発行
- eQSL.cc 接続
- 画像一括取込処理
- eQSL送信時のコメント

画像表示可能ボタンの例 ページ-12



**必要ファイルの取り込み**  
メモ帳などのテキストエディターで必要な月日の部分を拡張子を「EQSL.ADI」の様に切り取ります。

**ADIファイルからの一括取込** ボタンをクリックして取り込み  
未登録のデータのみ [R] が書き込まれます。  
取り込めなかったデータは「eQSL\_CHK.TXT」で出力  
取り込んだデータは「eQSL\_UP.TXT」で出力  
既に「R」のものについては出力しません。

EQSL.CCからは全ての登録データが次の様に取り込まれます。このままでも取り込みOKですが、時間がかかります。必要部分のみを取り込むことをお勧めします。

```
ADIF 3 Export from eQSL.cc
Received eQSLs for JA5BGA
for QSOs between 11-Sep-1964 and 31-Dec-2030
Generated on Saturday, February 19, 2022 at 03:04:46 AM UTC
<PROGRAMID:21>eQSL.cc DownloadInBox
<ADIF_Ver:5>3.1.0
<EOH>
<CALL:6>JA2BAS<QSO_DATE:8:D>19640922<TIME_ON:4>1145<BAND:3>40M<MODE:2>AM<RST_SENT:2>59<RST_RCVD:0>
<QSL_SENT:1>Y<QSL_SENT_VIA:1>E<GRIDSQUARE:6>pm85mj<EOR>
<CALL:6>JA4CZM<QSO_DATE:8:D>19641013<TIME_ON:4>0835<BAND:3>40M<MODE:2>AM<RST_SENT:2>59<RST_RCVD:0>
<QSL_SENT:1>Y<QSL_SENT_VIA:1>E<APP_EQSL_AG:1>Y<GRIDSQUARE:6>PM64wp<EOR>
<CALL:6>JA2FGL<QSO_DATE:8:D>19641122<TIME_ON:4>0645<BAND:3>40M<MODE:2>AM<RST_SENT:2>59<RST_RCVD:0>
<QSL_SENT:1>Y<QSL_SENT_VIA:1>E<GRIDSQUARE:6>PM94EW<EOR>
<CALL:6>IH4WMT<QSO_DATE:8:D>19780107<TIME_ON:4>0918<BAND:3>80M<MODE:2>SSB<RST_SENT:2>59<RST_RCVD:0>
```

コンファーム済?  Only Unconfirmed

Search

Note: このアカウントでは、下記の期間に該当するeQSLだけを表示しています:  
11-Sep-1964 00:00 - 31-Dec-2030 00:00  
この期間の変更や修正が必要でしたら、My Profileに進んで下さい。

Inbox+Archive内の全データをADIF形式でダウンロードするには [こちら](#) 他のログソフトへの移行用)



# JA局の免許状況、JCC、住所、調査：郵政省のホームページの活用

## ① JA局の免許状況確認

クリックで [コールサイン欄] に記載されている局を郵政省のホームページをから検索します。

## ② カレントレコードへ住所、JCC番号登録

- ①で検索した住所をクリップボードへコピーします。  
JCC (G) リストには県名は登録されていないので、市名等以下をコピーします。  
※ JCC (G) リストに合わせた住所のコピーが必要です。
- ②へマウスを当てた時に [住所] [JCC番号] が表示されていればそのままクリックで [住所] [JCC番号] がカレント業に取り込まれます。

総務省 The Radio Use Web Site 電波利用ホームページ

HOME 免許関係 電波利用料 電波環境 電波監視 周波数割当

無線局等情報検索

種類で探す

無線の種類 (必須)	アマチュア局
所轄総合通信局	指定なし
都道府県	指定なし
市区町村	指定なし
周波数(From-To)	
免許人名称	
呼出符号	JA5BGA
免許の年月日(From-To)	

並び替えキー 都道府県

一覧表示件数 100件

検索 戻る

検索結果一覧

この結果をダウンロードする 検索結果件数 1 ~ 2 / 2

名称	都道府県	無線局の目的	免許の年月日
***** (JA5BGA)	愛媛県伊予市	アマチュア業務用	平29.12.4
***** (JA5BGA)	愛媛県伊予市	アマチュア業務用	令元.8.29

JA5BGA

AS-25 L E LC

① 総務省局検索

② Cleptn

# グーグルマップとの連携：相手のロケーション等周辺表示

## ARRL連携 (XML: 契約者)

(相手が緯度経度を登録している場合は正確に表示、未登録の場合はそのカントリーのほぼ中心位置が表示されます。)

DX局等検索の都度緯度経度が表示されていますので上のボタンで直接グーグルマップで検索ができます。

ストリービューでその付近の状況が確認できます。

コールサイン検索直後は次のように緯度・経度が取り込まれています。(緯度・経度から検索)

QRZdb => [ JA5BGA ] DXCCno=[ 339 ] Name=[ SHINICHI SUZUKI ] QTH=[ 1543-3 SHIMOAGAWA TYO-CITY EHIME ]  
Country=[ 799-3111 JAPAN ] Land=[ JAPAN ] GL=[ PM63IS ] IOTA=[ AS-076 ] LOTW=[ OK ] 緯度=33.764021 経度=132.703514  
RS-38-05 = ふたみ

検索開始

コンテスト番号	36004	PM74		
<input type="checkbox"/>	0	業務日誌 取込、等	eQSL 画像	画像

ALLAN AVNEI				
FERRELL L MC ...				
ワーク欄総務省局札				
カレント局総務省札				
JCC未登録局抽出				
Google マップ検索	<input checked="" type="checkbox"/>	全JCCリスト 保守	AS-25 /	L E LOTW=OK
		ショートカットキー,DBG修	AS-25 /	I F

グーグルマップからの検索場所を選択します。  
 = 緯度・経度から検索を行います。  
 Q R Z XML 棟からコールサイン検索直後に緯度・経度が取得されます。  
 レ = ワーク欄の住所から検索されます。  
 ※ 詳細に登録されているほど制度が高くなります。

## 住所からの検索 (全員使用可能)

### 住所欄からのデータに基づき検索

(詳細な番地まで入れるほど正確な住所が表示)

(チェックをONにします。)

住所検索   F  
市下吾川 1 5 4

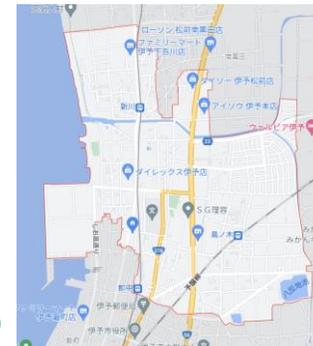
伊予市下吾川 1 5 4 3 - 3

Google マップ検索



画面切替

Google マップ検索  航空写真



ズーム

伊予市下吾川  
(番地無し検索例)



緯度・経度からの距離・ビーム角度計算：QRZ.XML契約者のみ使用可能  
 QRZ.COM (XML) から送られてくるデータには緯度・経度が含まれていますので活用しました。



QRZ (XML) 利用者

HAMQTH利用者

自局と相手局の「緯度・経度」よりの計算値

DXCCリストに登録値を表示

環境設定への登録内容

00011030	Locator	33.764021,132.703514
----------	---------	----------------------

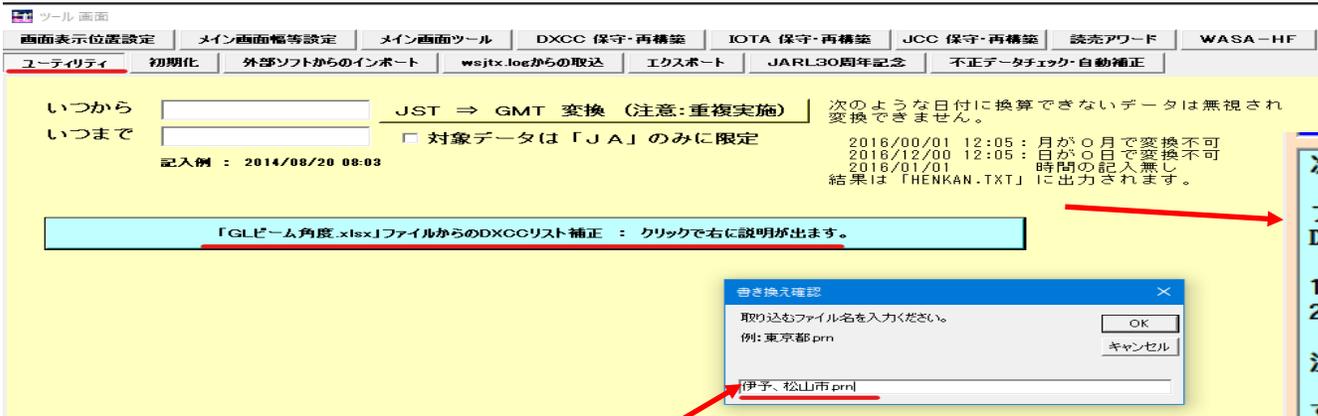
自局の「緯度<LAT>、経度<LON>」を[,]区切りで記入してください。(記入例 [33.764021,132.703514]) 未変更の場合はQRZからの角度、距離は取得しません。

# DXCCのビーム角度と距離の精度アップ：初期は東京近辺となっていますが、これをローカル近くに変更します。

## 手順：

- 1 EDXGホームページより「DXCCビーム.zip」をダウンロードして自局近くの「\*\*\*.PRN」をBGALOGフォルダーにコピーします。
- 2 取込ボタンを押下すると右の説明文が出ますので確認してください。
- 3 希望のファイル名を入力します。（例：伊予、松山市.prn）
- 4 正常終了の文字が出れば終了です。

**注意点**： この修正内容はDXCCリストのアップデートがあると元の標準に戻ってしまいますので、アップデート後には再度実施する必要があります。



次の要領で作業してください。  
 （自局に最も近い市を選択してください。）例：東京都.prn  
 ファイルの内容は次のように定型である必要があります。  
 DXCC番号 ショートP<sup>ス</sup> ロックP<sup>ス</sup> 距離  
 （距離以外は10バイトである必要があります。）  
 123456789012345678901234567890123456789  
 246 319 139 9736

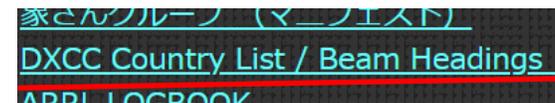
注意：  
 先頭のDXCC番号を検索して成功した場合は、カンントリーリストの内容を書き換えます。  
 市町村名ファイルは消滅（PJ2等の最近の追加）がありません。  
 登録ないカンントリーは修正されません。  
 BGALOG内に記入ファイルがない場合は、中止します。

入力後のエンターで作業開始します。

- 高松市 .prn
- 新居浜市 .prn
- 宇和島市.prn .prn
- GLビーム角度 .xlsx

地域ファイル名

EDXGから取込のファイル

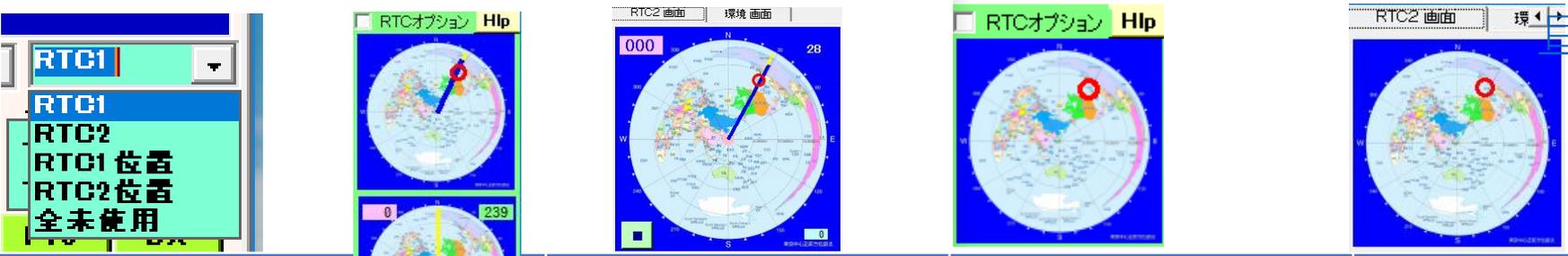


## DXCC Country List / Beam Headings

QTH:  Grid Locator (6 digit)  
 km  Miles

RTC画面：設定と位置確認

設定



区分	RTC1	RTC2	RTC3	RTC4
コントロール台数	1~4台	1台	位置表示用1台	位置表示用1台
RTCコントロール	○	○	X	X
位置情報	○ RTC1にのみ表示	○	○	○
画像の拡大縮小	X 不可	○	X	○
環境設定への登録	必要 (R1~使用台数分を設定)	必要	不要	
注意事項	RTC1 ⇔ RTC2 相互間での設定変更の場合 ポートが競合となる為B G A L O Gの再起動が必要		再起動不要 (位置情報管理としてのみ使用)	

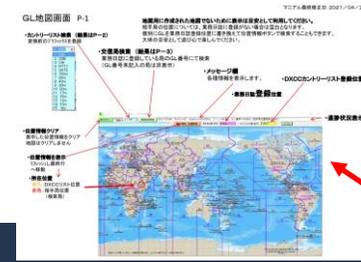
※ フォーム切替に失敗する場合は次の環境設定を起動時の開始画面にて修正してください。(1つのポートを使い分けますのでうまくいかない場合があります。)

環境設定 RTC1~4 に使用台数分記入が必要：未使用分についてはスペースとします。

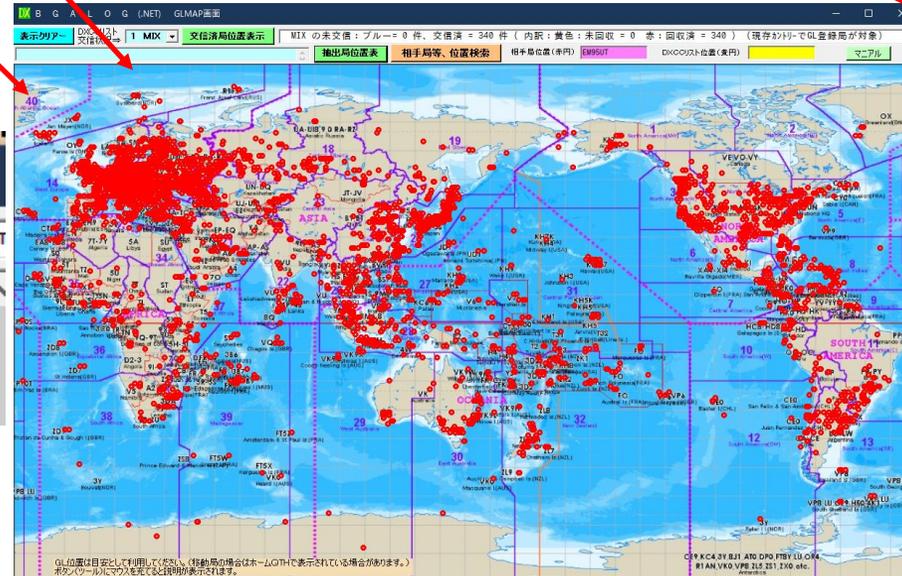
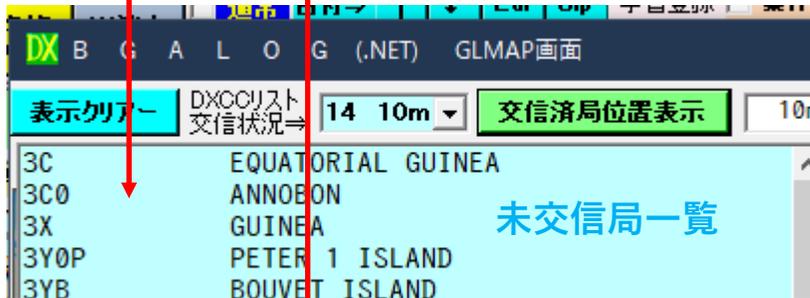
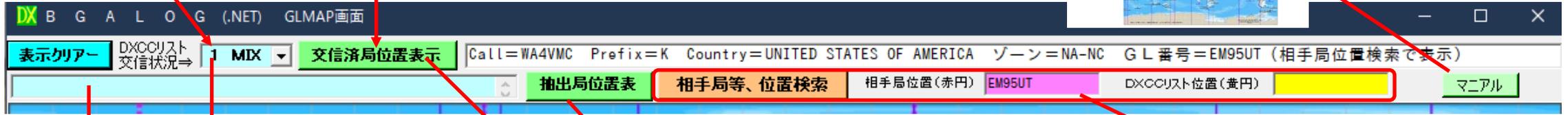
ソート番号	項目	設定データ (Max255 Byte)	説明文	分類
02020010	RTC_Beam	1	RTC使用画面設定 (0=全未使用、1=RTC1：複数台数使用、2=RTC2：シングル台数使用、3=RTC1位置情報のみ、4=RTC2位置情報のみ)	RTC GAMEN
02020030	RTC_GAMEN	2437,-1076	RTC画面の表示位置 (X,Y) をドットで指定します。例：300,0 (上からの位置,左からの位置) 詳細は、RTCボタンをマウスの「進む」ボタンでクリックして「HELP説明」を見てください。	RTC GAMEN
02020050	RTC_R1	<5> 7. 10. 14. 18. 21. 24. 28.	入力例 <4> 3. 7. 10. 14. 18. 21. 24. 28. 未使用の場合はここを削除してください。次の行⇒に続く	RTC GAMEN
02020070	RTC_R2	<6> 50.	⇒ ローターをコントロールしない場合は、「RTC R1~R5」を未記入 (空白) としてください。次の行⇒に続く	RTC GAMEN
02020090	RTC_R3		⇒ RTCを使用する場合は、<コムポート> + (スペース) + 周波数 (Mhz + ドットまでを記入)	RTC GAMEN
02020110	RTC_R4		⇒ 各RTCコントローラを使用しない場合はスペースとします。	RTC GAMEN
02020130	RTC_Offset	0	周波数毎のオフセット値、記入例：「7.(10).21.(-15)」 周波数. (オフセット値), (区切り記号はコロ) 周波数はメガヘルツのドットまで記入	RTC GAMEN
02020140	RTC2_Offset	0	RTC2専用のオフセット値、記入例：20 (オフセット値：マイナスの場合は前に[-]を付与する	RTC GAMEN
02020150	RTC_BeamIn	0	交信登録時にRTCのビーム角度を取り込みます。1=昇欄へ取込 2=JCC欄へ取込 0=未取込 ※ 要RTC-59が起動している必要があります。2を選択するとJCC欄が【BM角度】に変更されます。	RTC GAMEN
02020170	RTC_TopDisp	0	画面のトップ表示設定、0=通常画面。1=トップ画面として最前面表示	RTC GAMEN
02020210	RTC_Size	895	RTC2の画面サイズ 例	RTC GAMEN

# ● 地図画面：ロケーション表示と G L から過去の交信局を表示

バンド・モード選択 交信局位置表示

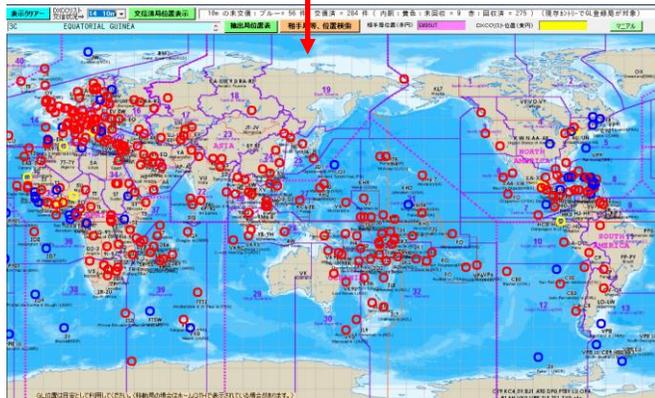


詳細マニュアル表示



黄色 DXCCリストの登録位置  
赤色 メイン画面での検索局の位置

交信登録局の G L によりその位置情報が表示されます。  
(抽出局位置表示：メイン画面に抽出されている局により表示)

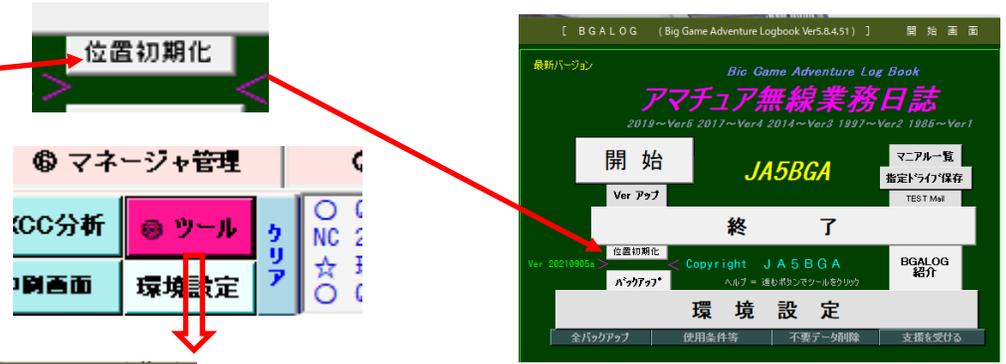


DXCCの交信状況がカラーで表示されます。

● **画面位置設定 - 1/2** : 各画面の表示位置を設定

**初期化** : 画面の表示位置をメイン画面の左上の位置に設定します。  
メイン画面が表示されない場合に使用します。

**個別の画面位置を設定** : 各画面を好みの位置に設定した後に設定すれば環境設定に登録されます。  
環境設定に直接書き込むことも可能です。



ツール画面

画面表示位置設定 | メイン画面幅等設定 | メイン画面ツール | DXCC 保守・再構築 | IOTA 保守・再構築 | JCC 保守・再構築 | 各種アワード | WASA-HF

ユーティリティ | BGALOG QSOデータ 初期化 | 外部ソフトからのインポート | FTB (4) データ取込 | エクスポート | JARLアワード関係 | 不正データチェック・自動補正

現在の表示位置を環境へ記録

- メイン画面 (現在表示位置登録)
- ペディション画面 (現在位置登録)
- テルネット画面 (現在表示位置登録)
- 印刷画面 (現在表示位置登録)
- 分析・グラフ画面 (現在表示位置登録)
- キーパット画面 (現在表示位置登録)
- GL地図画面 (現在表示位置登録)
- オプション画面 (現在表示位置登録)
- RTC1画面のみ設定 注意⇒

⇒ RTC1とRTC2で共有使用  
RTC2を使用すると登録情報が変わります。  
⇒ RTC1は固定位置使用  
RTC2は終了位置を登録  
いずれかを定めて使用してください。  
RTC2を使用すると次回のRTC1はこのボタンで再設定が必要です。

画面の位置をメイン画面の左上に表示に変更

- ペディション画面 (位置初期化設定)
- QSL-DX画面 (位置初期化設定)
- FTB (4) 画面 (表示位置初期化)

その他 (詳細設定は次ページの [メイン画面幅等設定])

- メイン画面の各項目の幅を標準化

ディスプレイに画面が表示されなくなった場合など、全ての画面の位置初期化はメイン画面の「位置初期化」ボタンにて修復できます。  
その後、現在の位置記録ボタンで初期位置を登録してください。  
FT8など一部の画面は終了時の位置状態を記録しますのでここでは設定がありません。

GAMEN [登録]

50000030	MAIN_Y	-1076
50000070	TELNET_X	645
50000090	TELNET_Y	-535
50000092	TELNET_Size	1803,560
50000094	TELNET_Splitter	200
50000150	TeIDxcc_X	10
50000170	TeIDxcc_Y	10
50000190	BUNSEKI_X	0
50000210	BUNSEKI_Y	0
50000230	KEY_X	1145
50000250	KEY_Y	40
50000270	KEY_High	1328
50000290	PRINT_X	0
50000310	PRINT_Y	0
50000330	GLMAP_Y	0

[ここをクリックでツール編へ移動](#)

## LoTWへの自動登録 : lotwへの自動登録方法を記載

- 1 LoTWへの未送信データを抽出
- 2 登録ボタンをクリックの都度自動的に送信の有無を設定
- 3 ダウンロードしたデータをBGALOGに取込
- 4 左: TQSL. Exeを起動、 右: カレントの局のデータを直接LoTWへ送信します。

### 説明

- ① lotwへ未送信 (L欄がスペースのもの) のものを抽出して [コールシ.ADI] ファイルを作成します。抽出したコールサインには自動で送信済の [L] を記入します。
- ② チェックがあると交信後の登録時にこの画面を非表示の状態**で都度自動でLOTWへ送信**します。送信したコールサインには自動で送信済の [L] を記入します。送信中に一時的にダミーの処理が面が表示されますが、終了時に自動で消えます。
- ③ lotwからのダウンロードデータの取り込み  
ダウンロードフォルダーから [lotwreport.adi] ファイルを [BGALOG] フォルダへ移動し、自動的に受領処理 [L] 登録、DXCC、IOTAリストへも取り込みます。
- ④ 左: lotwへ接続するための [tqsl.exe] を起動します。  
右: カレント行をlotwへ1件ずつ送信します。(送信済を再送する場合は、[L⇒スペース] に要変更)  
送信したコールサインには自動で送信済の [L] を記入します。

- ①
- ②
- ③
- ④



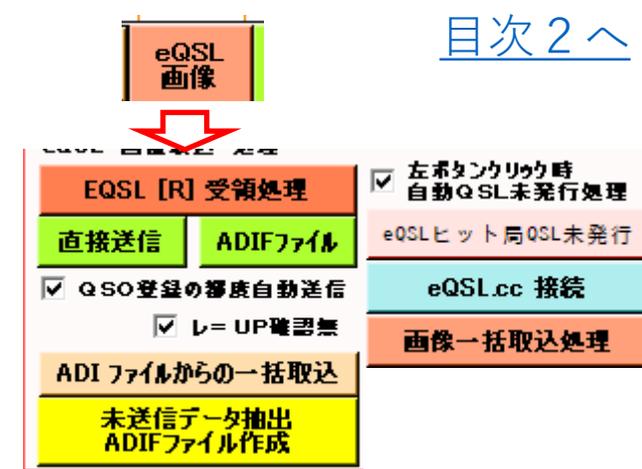
## e Q S L への登録 : e Q S L への自動登録方法を記載

- 1 EQSLへ受領マーク [R] を登録
- 2 カレント行を直接送信、 3 [eQSL.ADI] ファイルへ追記
- 4 登録ボタンをクリックの都度自動的にEQSL.CCへ直接送信
- 5 EQSL.CC からの登録確認を表示しません。（4とセットで使用）
- 6 ダウンローとしたADIFファイルから一括で取り込みます。
- 7 未送信データを抽出して [eQSL.ADI] へ追加登録を行います。  
抽出したコールサインには自動で送信済の [E] を記入します。

### 追加説明

- ①  内の登録を処理時にボタンクリックで [R] を記入
- ② カレント行をEQSL.CCへ送信します。  
送信したコールサインには自動で送信済の [E] を記入します。
- ⑤ 自動送信後にEQSL.CCから確認の送信がありますが、これを非表示にする場合にチェックを入れます。
- ⑥ I o t wからのダウンロードデータの一括取り込み  
自動的に受領処理 [R] 登録、J Aの場合はJ C C処理を行います。DX C Cリストへは未処理です。
- ⑦ 作成したコールサインには自動で送信済の [E] を記入します。

- ①
- ②、③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦



● クラブログ等への登録 - 1 / 4

登録方法の選択

チェック ON = 自動送信

QSO後の業務日誌登録時に自動的に送信

・ 選択個別送信方法

送信する部分のデータを選択して個別送信が可能

直通ボタン未送信データのアップロード

クリックでカレントのデータを送信

何らかの理由で未送信となったデータを送信



Main Gyomu Option

But_LOTW_WAS	LoTW 抽出・転送	総務省局検索 <input type="checkbox"/> 停止	全DXCCリスト 保守
DLフォルダへLOG取込	FT8交信データ取込 (WSJTX.LOG.ADI~)	カレント局総務省検索	全FT8リスト 保守
TQSL起動	FT8交信データ取込 (WSJTX.LOG~)	JCC未登録局抽出	全JCCリスト 保守
クラブログ抽出・送信	登録分DT.TXT~取込 (TXT~)	Google マップ検索 <input type="checkbox"/>	ショートカットキー,DBG修正,マニュアル
<input type="checkbox"/> QRZ・XML(検索)	業務日誌各項目の幅	<input type="checkbox"/> 現時間表示方法	逆引きマニュアル
<input type="checkbox"/> QRZ・ログ 直送		<input type="checkbox"/> 先読 一致 検索	
<input type="checkbox"/> クラブログ 直送			
<input type="checkbox"/> LOTW 直送			

環境設定 **分類抽出**

分類抽出より設定したい環境 [CLUB、eQSL、LOTW、QRZ] をクリックして [説明] を確認してください。

それぞれの接続場所との使用契約を済ませておく必要が有ります。

⇒ パスワードの登録など (一部有料有)

自動送信の設定場所 (必須の場所のみ表示) 関連項目も要チェック

[ CLUB\_LOG ]

[ CALKENSAKU (受信) ]、[ CLUB\_QSLSEND ]

[ CLUB\_PASSWORD ]、[ CLUB\_MAILADDRESS ] を設定

[ LOTW ]

[ LOTW\_TQSLSEND ]

[ QRZ ]

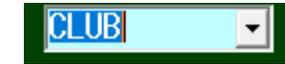
[ QRZPASSWORD ]。 [ QRZACCESSONOFF ]

[ QRZACCESS\_KEY ]

[ EQSL ]

[ EQSLPASSWORD ]、[ EQSL\_AUTOTX ]

環境設定



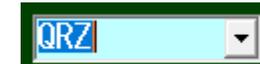
ソート番号	項目	設定
03000050	noClub	
32000250	CalKensaku	1
33000010	CLUB_QsISend	0
33000030	CLUB_Password	s
33000050	CLUB_Mailaddress	j



ソート番号	項目	設定
00050010	EQSL_COMENT	TH
02010010	Memo	1
34000630	eQSLpassword	3
34000640	eQSL_AutoTX	1
34000650	eQSL_UPkakinin	1
34000670	eQSL_NoTX	1
82000320	Width_eQSL	19
82001320	Mfont_eQSL	10

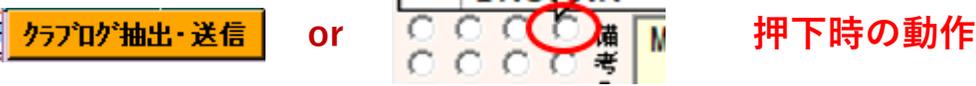


ソート番号	項目	設定
02010010	Memo	1
20001010	LoTW_Update	2023.
20010010	DownloadFolder	C:¥U
32000090	LoTW_QSLT	1
32000092	LoTW_Iota	1
32000110	LoTW_Folder	C:¥P
32000150	LoTW_Activity	0
32000170	LoTW_TqslSend	1
60000270	Ft8_Lotw	0
82000310	Width_LOTW	19



ソート番号	項目	設定
02000010	qrzPassword	sl
02000019	qrzaccessOnOff	1
02000020	qrzaccess_key	9l
02010010	Memo	1

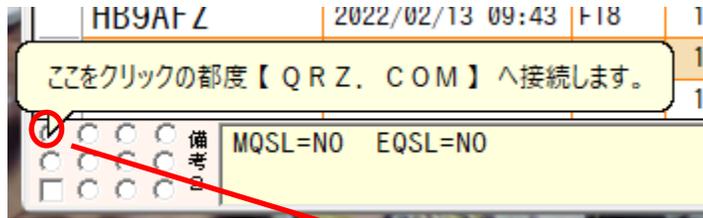
● クラブログへの登録 - 2/4



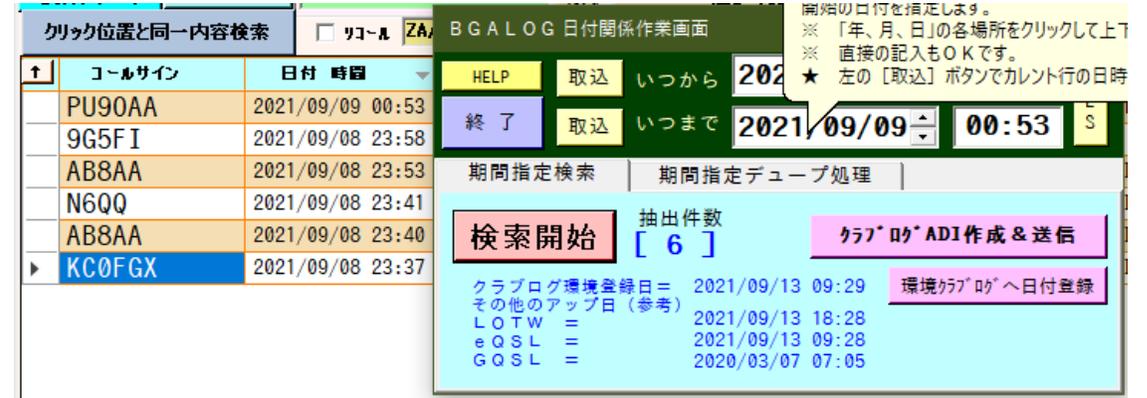
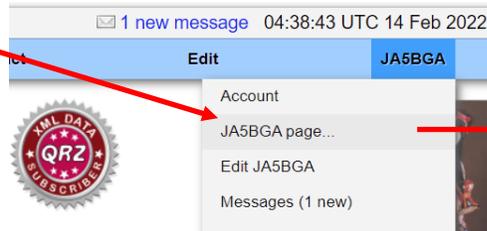
[0] 手動送信 (右の様な日付選択画面を表示)  
 右の作業画面が表示されクラブログへ未送信のデータを日付により抽出ができます。  
 抽出し、作成 & 送信ボタンでクラブログへ接続し、ADIF ファイルをアップロード出来ます。

[1] セミ自動送信 (日付選択画面を非表示)  
 日付選択画面を省略して前回の送信後のデータを抽出され、自動的にアップロード画面に接続されます。

ログサーチ貼り付け後のアップロード確認方法  
 ※ LOTW、クラブログのサーバーの混雑状況によりタイムラグがあります。



- 1 QRZ 接続ボタンをクリック
- 2 右の自局のコールサイン選択
- 3 右図の様に結果が確認できます。



QRZ.COMにログサーチを張り付ける方法  
 次を参考にしてください。  
 貼り付け元 <<https://ameblo.jp/jh1lmd/entry-12549875830.html>>

CLUBLOG	Worked	Confirmed	Log Search	
JA5BGA	340	340	<input type="text"/>	Go
DX Call	Date	Band	Mode	Entity
BD5CAM	2022-01-11	40M	Data	CHINA
VK4GP	2022-01-11	15M	Data	AUSTRALIA
JT1YL	2022-01-11	15M	Data	MONGOLIA
DU1/NF00	2022-01-11	15M	Data	PHILIPPINES
YD9RRR	2022-01-11	15M	Data	INDONESIA
KH6DK	2022-01-11	15M	Data	HAWAII

# ● クラブログへの登録（チェック機能） - 3/4

- 上段 : ① QRZ.COM、② PSKレポート、③ DXマップ、④ **クラブログアップ**
- 中段 : ⑤ HAMQTH、⑥ HAMCALL、⑦ 予備、⑧ **クラブログアップ内容表示**
- 下段 : ⑨ 画面最下位表示、⑩ DXニュース、⑪ IK3QAR、⑫ **【クラブログQSO】へ接続**

## クラブログアップ

環境設定により右図の様に動作が異なります。  
環境設定で [0, 1] 選択の場合は  
「https://clublog.org/upload\_html5.php」へ接続し、  
「JA5BGA.ADI (コールサイン.ADI)」ファイルをアップロードします。  
環境設定で [2] 選択の場合は登録漏れを直接"realtime.php"へ送信します。

環境設定により右図の様に動作が異なります。  
環境設定で [0, 1] 選択の場合は

「https://clublog.org/upload\_html5.php」へ接続し、  
「JA5BGA.ADI (コールサイン.ADI)」ファイルをアップロードします。

環境設定で [2] 選択の場合は登録漏れを直接"realtime.php"へ送信します。

クラブログへ送信データをアップします。(送信方法設定により次の動作)  
 0 = 期間指定でADIFを作成しクラブログアップロード画面から送信  
 1 = 前回送信後の未送信データを自動抽出しクラブログアップロード画面から送信  
 2 = カレントの送信漏れデータの送信 (デューブ送信に要注意)  
 2に設定の場合はフル自動送信 (QSO登録時に「API KEY」により直接自動アップデートします)のため通常使用しません。送信失敗時のデータのみ送信してください。

※ 送信方法設場所 : 業務日誌取込、等 ⇒ クラブログへの送信方法を選択

MQSL=NO QSLマネージャ=QSL VIA LOTW, QRZ USA-CA=48213 STATE=TX

## クラブログアップ内容表示

★ 【マウスが通貨】で [CLUB\_TX.TXT] があればクラブログ登録内容を表示  
 ★ 【クリック】で自局がクラブログへ登録しているリストを表示 (ラスト10)

MQSL=OK EQSL=OK QSLマネージャ=LOTW

N7ND	2022/02/16	13:45	FT8	7.074.0	-05	+00	Send OK
BH6JOR	2022/02/16	13:42	FT8	7.074.0	-05	-18	Send OK
W7FRD	2022/02/16	13:40	FT8	7.074.0	-04	+05	Send OK
AB5EO/6	2022/02/16	13:36	FT8	7.074.0	-09	-14	Send OK
KI7UXL	2022/02/16	13:35	FT8	7.074.0	-03	+13	Send OK
W5QJ	2022/02/16	13:26	FT8	7.074.0	-11	-02	Send OK
K7VP	2022/02/16	13:24	FT8	7.074.0	-14	-15	Send OK
K2AK	2022/02/16	13:22	FT8	7.074.0	-01	-05	Send OK

## 【クラブログQSO】へ接続

クリックの都度、コールサイン欄の局の  
【ラスト10表示】

自局  
検索局

CLUBLOG	Worked	Confirmed	Log Search	
JA5BGA	340	340		Go
DX Call	Date	Band	Mode	Entity
KG5EVI	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
KM7H	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
KG5EM	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
K5HDU	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
N5USD	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
W0TAO	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
N7ND	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
BH6JOR	2022-02-16	40M	Data	CHINA
W7FRD	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA
AB5EO/6	2022-02-16	40M	Data	UNITED STATES OF AMERICA

## クラブログ内での設定が必要です。

Additional Settings

Should Club Log email you a summary after each upload?  
 Every upload  
 Only errors  
 Never

Activate the last 10 QSOs and stats tool on your account?  
 Yes, allow this tool  
 No, disable it

右のクラブログを表示するには  
ここにチェックが必要

● クラブログ等への自動登録停止 - 4/4

- |    |              |            |            |                       |
|----|--------------|------------|------------|-----------------------|
| 上段 | : ① QRZ.COM、 | ② PSKレポート、 | ③ DXマップ、   | ④ <del>クラブログアップ</del> |
| 中段 | : ⑤ HAMQTH、  | ⑥ HAMCALL、 | ⑦ 自動登録一時停止 | ⑧ クラブログアップ内容表示        |
| 下段 | : ⑨ 画面最下位表示、 | ⑩ DXニュース、  | ⑪ IK3QAR、  | ⑫ 【クラブログQSO】へ接続       |

Main Gyoumu Option

- But\_LOTW\_WAS
- DLフォルダへLOG取込
- TQSL起動
- クラブログ抽出・送信
- 自動送受
  - QRZ・XML(検索)
  - QRZ・ログ 直送
  - クラブログ 直送
  - LOTW 直送

この項目は個別送信ボタンを作成したことから廃止します。

LOTW等への自動送信を一時停止  
 L = LOTW、クラブログ、EQSLへの自動送信を停止  
 = 環境設定どおりの動作となります。

※ テスト登録時等、において自動的にLOTW登録等への自動登録処理を停止するため、環境登録にかかわらず自動送信を停止します。

MQSL=OK EQSL=NO QSLマネージャ=QSL CARD PAYPAL 5.50USD TO

eQSLへの自動送信を一時停止  
 L = EQSLへの自動送信を停止  
 = 環境設定どおりの動作となります。

DLフォルダへLOG取込

TQSL起動

自動送受等
 

- QRZ・XML(検索)
- QRZ・ログ 直送
- クラブログ 直送
- LOTW 直送

この項目に対しては使用できません。

eQSL 自動取込 処理

EQSL [R] 受領処理  左自

直接送信 ADIFファイル eQSL

QSO登録の履歴自動送信

L=UP確認無

ADIファイルからの一括取込

未送信データ抽出 ADIFファイル作成 eQSL送信時 Thanks Nice

# ● メイン画面各項目幅設定 - 2/2 : 各項目の表示幅設定手順

1 下の枠内の各項目間のオレンジの境界線をマウスでスライドさせて好みに設定して表示幅を決定します。

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	プリフィ...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	ゾーン	T	R	L	e	備考1	IOTA	JCC	GL	Q	申請	
▶	WA4VMC	2021/09/03 01:37	FT8	18,100.0	-10	+01	K	291	GARY W MILLER	UNITED STATES ...			NA-NC	/		L	E	LOTW=USE BORN=1950					EM95UT	
	W1EL	2021/09/03 01:28	FT8	18,100.0	-12	-13	K	291	ERIC F LOWELL	UNITED STATES ...			NA-ME	/		L	E	LOTW=OK					FN64EW	
	WA4YJY	2021/09/03 01:26	FT8	18,100.0	-19	-18	K	291	THOMAS L JONES	UNITED STATES ...			NA-FL	/		R	E	LOTW=USE					EL99HX	

※ 垂直カーソルの位置より大きな幅に設定すると水平スクロールが表示され表示行数（局数）がその分少なくなります。

2 業務日誌取り込み等ボタンをクリック



3 「業務日誌各項目の幅環境登録」をクリックで環境に登録します。

LoTW 抽出・転送	FT8 交信データ取込 (WSJTX.LOG.ADI~)	ワーク欄総務省局検索	全DXCCリスト 保守
<input checked="" type="checkbox"/> レ=都度自動送信	FT8 交信データ取込 (WSJTX.LOG~)	カレント局総務省検索	全FT8リスト 保守
~ 取込・取込	登録分DT.TXT~取込 (TXT~)	JCC未登録局抽出	全JCCリスト 保守
TQSL起動 直送	Google マップ検索	Google マップ検索	ショートカットキー、DBG修正、マニュアル
クラブログ抽出	業務日誌各項目の幅環境登録	<input type="checkbox"/> 現時間表示方法	逆引きマニュアル
<input type="checkbox"/> クラブログ 直送		<input checked="" type="checkbox"/> 先読 一致 検索	

ここをクリックでツール編へ移動

その他の設定方法（ツール内の次の画面からも設定できます。）

ツール画面

画面表示位置設定 | **メイン画面幅等設定** | メイン画面ツール | DXCC 保守・再構築 | IOTA 保守・再構築 | JCC 保守・再構築 | 各種アワード | WASA-H

ユーティリティ | BGALOG QSOデータ 初期化 | 外部ソフトからのインポート | FTB (4) データ取込 | エクスポート | JARLアワード関係 | 不正データチェック・自動

設定項目	幅	フォント	設定項目	幅	フォント
1: コールサイン	121	14	18: 備考1	180	10
2: 日付	125	10	19: 備考2(設定は固定で不可)		
3: モード	47	10	20: IOTA	54	10
4: 周波数	79	10	21: JCC	53	10
5: 相手RST	38	10	22: グリッドロケータ	53	10
6: 自局RST	38	10	23: 画像	19	10
7: プリフィックス	51	12	24: 相手移動(設定は固定で不可)		
8: DXCC番号	35	12	25: 自局移動(設定は固定で不可)		
9: 氏名	122	10	26: QSL発酵用ソート(印刷時に表示)		
10: QTH	131	10	27: リグ(設定は固定で不可)		
11: マネージャ	60	10	28: 電力(設定は固定で不可)		
12: ペディション	19	10	29: 申請	43	10
13: ゾーン	55	10	30: (将来の予備項目)		
14: QSLT	19	10	31: (将来の予備項目)		
15: QSLR	19	10			
16: LOTW	19	10			
17: eQSL	19	10			

幅を「0」に設定するとその項目は非表示となります。

★注意★  
 半角の数字以外を入力するとエラーになります。  
 フォントは「9~12」「14」「16」「18」以外使用不可

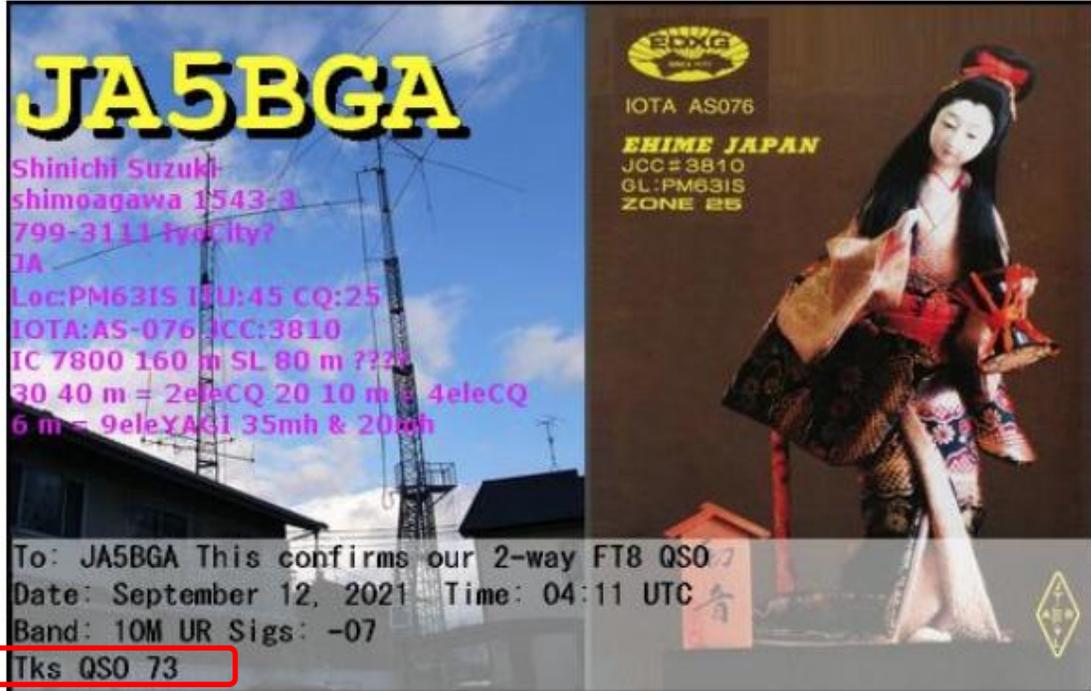
環境から読込 | 環境へ登録

# ADIFファイルへコメント添付

環境設定に直接書き込んでください。

00050010	EQSL_COMENT	Tks QSO 73	EQSL等への送信データにメッセージを送ります。0=未送信、スペース以外の文字はEQSLへ送信します。コマンドは<QSLMSG:**>を使用します。
----------	-------------	------------	--

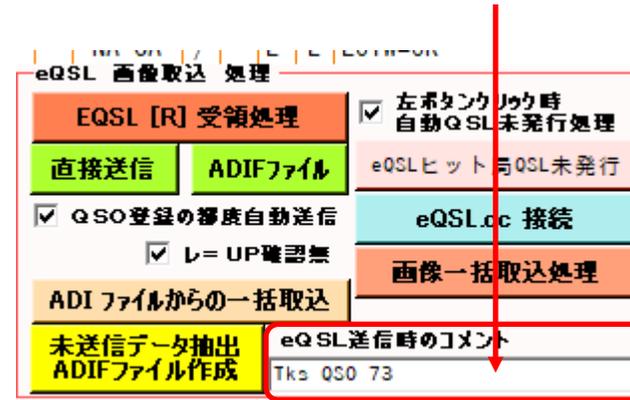
記入時の表示例



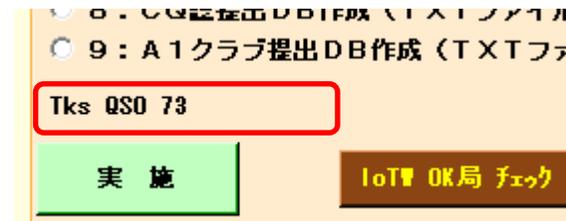
コメント欄にも表示されます。

	JA5BGA	12Sep2021 04:11	10M FT8	JAPAN	Y	-07 Tks QSO 73
--	--------	--------------------	---------	-------	---	-------------------

起動初期には次の様にメッセージが表示されます。  
固定表示とする場合は環境設定へ登録する必要がありますが、  
一時的に変更したい場合はここを修正してください。



全てのADIFファイルにコマンドとデータが追加されます。  
この場所からは変更できません。(参考表示となります)



# クリック位置と同一データの検索

このボタンにより簡単に現在の**リバースカーソル**と同じデータを検索します。

通常はワーク欄にコピーしてそれぞれのボタンで検索しますが、これらの処理を省略して簡単に検索できます。

完全一致検索 (F3) 部分一致検索 (F4)

クリック位置と同一内容検索

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	フツ...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	サブ...	T	R	L	E	備考1	IOTA	JCC	GL	Q	申請
	JA1TDM	2021/09/13 09:28	FT8	10,136.0	+01	+15	JA	339	NOBORU "ODD"	JAPAN			AS-25	/	L	E			134407	PM95			
	BG5BDY	2021/09/13 09:25	FT8	10,136.0	-13	-11	RY	318	YINGWEI ZHANG	CHINA			AS-24	/	L	E	LOTW=OK BORN=1956				PL08EC		
	ZL4KYH	2021/09/13 09:24	FT8	10,136.0	-13	-04	ZL	170	DANIEL RICHARDS	NEW ZEALAND			OC-32	/	L	E	LOTW=NO				RE78KP		
	KH6IB	2021/09/13 09:23	FT8	10,136.0	-08	-07	KH6	110	RANDOLPH C YOUNG	HAWAII			OC-31	/	L	E	LOTW=OK BORN=1946	OC-019			BL1TAI		
	CE1PTT	2021/09/13 09:19	FT8	10,136.0	-10	+02	CE	112	BERNARDO L担PEZ	CHILE			SA-12	/	L	E	LOTW=OK BORN=1968				FH41UM		
①	V31MA	2021/09/13 09:14	FT8	10,136.0	-13	-02	V3	066	MARC M.	BELIZE	MOOXO		NA-7	/	L	E	LOTW=OK				EK58UL		
	RL3AM	2021/09/13 09:05	FT8	14,074.0	-18	-07	UA1	054	SERGE	EUROPEAN RUSSIA			EU-16	/	L	E	LOTW=USE				K085SS		
	UA4FEN	2021/09/13 09:04	FT8	14,074.0	-07	-01	UA1	054	SLAV PRELOV	EUROPEAN RUSSIA			EU-16	/	L	E	LOTW=OK BORN=1961				L023MF		
	RG7F	2021/09/13 08:39	FT8	21,074.0	-11	-08	UA1	054	ALEXANDER ISUPOV	EUROPEAN RUSSIA			EU-16	/	L	E	LOTW=OK				LN05UI		

**結果**

ZL4KYH	RE78KP
ZL1BRL	RE78KP
ZL4GS	RE78KP
ZL1BRL	RE78KP

**結果**

備考1	IOTA	JCC	GL	Q
		134407	PM95	
=USE	AS-007	134407	PM95TU	
=USE BORN=1948	AS-007	134407	PM95TU	J

クリック選択の場所と同一のものを2ストローク検索

**手順**

① [ V31MA等をクリック ]

② クリック位置と同一内容検索 クリック

**結果**

**結果**

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数
	V31MA	2021/09/13 09:14	FT8	10,136.0
	V31MA	2018/10/19 08:11	FT8	7,074.6
	V31MA	2014/04/18 08:47	RTTY	10,142.0

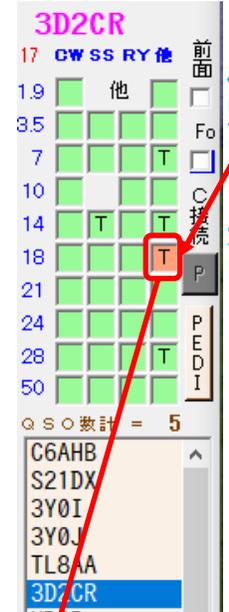
**結果**

↑	コールサイン	日付 時間	モード	周波数	HRS	MRS	フツ...	DX...	名前等	住所	マネージャ	P	サブ...	T	R	L
▶	CE1PTT	2021/09/13 09:19	FT8	10,136.0	-10	+02	CE	112	BERNARDO L担PEZ	CHILE	CE3AA		SA-12	/		L
	CE1PTT	2021/07/24 03:02	FT8	14,074.0	-20	-21	CE	112	BERNARDO L担PEZ	CHILE	CE3AA		SA-12	/		R.
	CE1PTT	2021/05/13 07:33	FT8	7,074.0	-17	-05	CE	112	BERNARDO L担PEZ	CHILE	CE3AA		SA-12	/		R.
	XR90IARU	2015/12/10 04:01	RTTY	21,081.0	599	599	CE	112	SPECIAL AWARD...	CHILE	CE3AA		SA-12	G		L

# バンドスコープ画面の活用 (バンドスコープからの検索)

マウス通過時にカーソルが**ハンドマーク**になる場所は全て検索対象です。(空欄の場所は検索不可)

★ クリックはシングル or ダブルクリック



この状態ではデジタルが1本化され個別モード不明

同一**DXCC**局の抽出：(例：489) をクリック  
同一DXCC番号の全交信局を全て表示

同一**IOTA**局の抽出：  
同一IOTA番号の交信局を全て表示

同一**DXCC、周波数**の局抽出：  
(例：7、10、等)  
同一DXCC番号、周波数の交信局を全て表示

	IOTA	CW	PHONE	DIGIT	R	P	F	他
1.9								
3.5								
7	3D2C		3D2C	T				T
10	3D2C		489	T				T
14	3D2C		3D2C	T				T
18	3D2C		3D2C	T				T
21	3D2C		3D2C	T				T
24	3D2C		3D2C	T				T
28	3D2C		3D2C	T				T
50	3D2C		3D2C	T				T

同一**ゾーン**局の抽出：(例：OC-32)  
同一ゾーン番号の全交信局を全て表示

同一**カントリー**の局抽出：(例：3D2C)  
同一DXCC番号、同一カントリーの交信局を全て表示

同一**DXCC、モード**局の抽出：  
同一DXCC番号、モードの交信局を全て表示

同一**DXCC、デジタルモード、詳細モード**局の抽出：  
同一DXCC番号、モードの交信局を全て表示

**コールサイン (T・R)** クリック：  
そのバンドモードでの交信局をすべて表示します。

完全一致 検索(F3)	部分一致 検索(F4)	3D2CR	FT8	18,100.0	備考1検索		
クリック位置と同一内容検索		コール 3D2CR	LOTW=OK				
↑	コールサイン	日時 時間	モード	周波数	HRS	MRS	リフレ...
	3D2CR	2021/09/22 23:52	FT4	18,104.0	+05	+14	3D2C
	3D2CR	2021/09/19 07:10	FT8	18,097.5	-02	+14	3D2C

デジタル部分のQSO確認で  
FT4、FT8での交信済が確認できます。

# オプション画面の位置設定

## 環境での登録位置

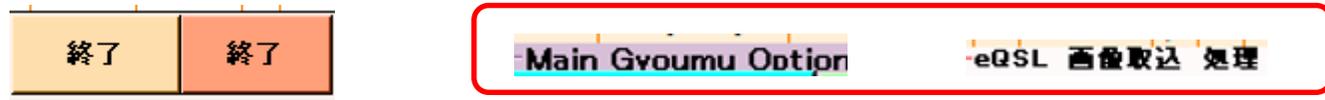


ポート番号	項目	設定データ (直接修正可能)	説明文	分類
50000032	MAIN_GYOUMU	279	メイン画面の [Main Gyoumu Option] の画面左からの位置で設定 注意: 1250を超えて指定すると画面に表示できなくなります。 (標準=279 : 0~1250) ピクセル単位	GAMEN
50000035	MAIN_EQSL	864	メイン画面の [eQSL 画像取込 処理] の画面左からの位置で設定 注意: 1450を超えて指定すると画面に表示できなくなります。 (標準=864 : 0~1450) ピクセル単位	GAMEN

## 次の画面のX (横) 位置を変更して表示



終了ボタンが隠れてしまった場合は項目名またはボタン等の無い位置をクリックしてください。



## B G A L O G 初めてのインストール時の設定事項：P C にインストールするファイルや設定 (P C へ初めてインストール時を含みます。)

### データベースエンジン

B G A L O G はアクセスのデータベース [BGALOG.ACCDB] を使用しています。  
これを動作させるためにマイクロソフトの無料配布の [AccessDatabaseEngine.exe]  
でP C 内にインストールする必要があります。

### フォント

[0(ゴシック)] と [0(効オゴシック)] を明確にするためにフリーソフトの [TakaoGothic.ttf]  
を標準としていますのでインストールしてください。

### P C の電源設定 (スリープ状態にしないでください)

W I N - 1 0 の初期値の設定は節電のために一定時間使用しない場合はスリープとなり、  
ディスプレイ、HDD (SSD) の電源を o f f としてしまいます。

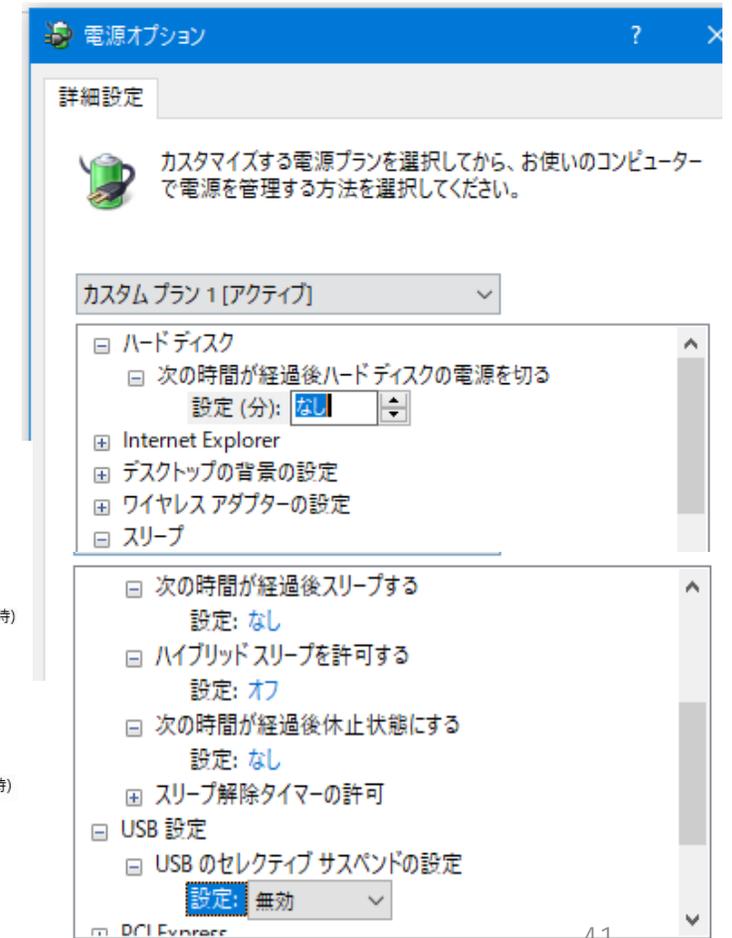
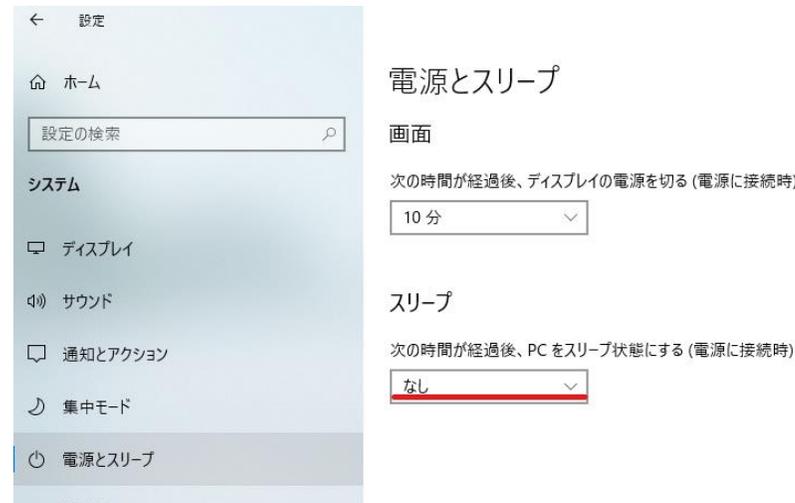
### B G A L O G のアップデートを実施

初期インストール時はプログラムのバージョンが  
古くなっているため環境との不一致が発生する場  
合がありますので早い時期でのアップデートを  
実施してください。

### P C を変更時の処理

旧の [B G A L O G] フォルダー毎すべてを新し  
いP C のルート (C : ¥) へコピーしてください。  
他の処理は不要ですが、**上記各処理が必要**です。

インストールマニュアルをご覧ください。  
(P C に1度入れるのみです。)



## ● ファイル内容確認

関連のファイルを表示しその内容から必要なコールサインなどを検索して確認できます。  
内容はそれぞれのツールのツールにマウスを当ててツールチップヘルプを見てください。

よく使用する内容を定型化  
定型テキスト直接表示ボタン

提携以外その他の検索  
クリックするとフォルダー（ファイル検索画面となります）

書換登録  
書き換えた内容で元のファイルに書き込みます。

ここに表示された内容は「書換登録」を行わない限り  
元のファイルには影響がありません。

## ● ファイル検索方法の例（年月\_ALL.TXTから交信した内容を確認する）

当月ALL  JT  
 WS

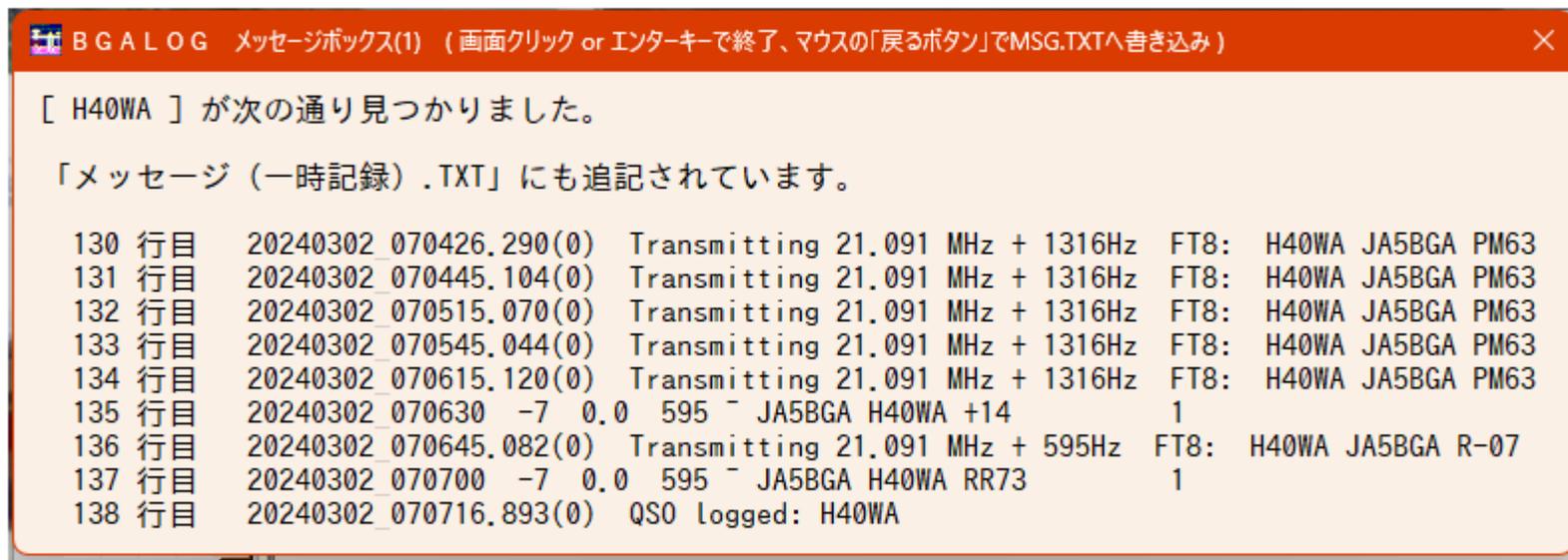
をクリックしてその年月の [202401\_ALL.TXT] を取り込みます。

次へコールサイン等を書き込み、検索を実施します。

H40WA

検索実施

次ページの様に表示されます。



このようにその局とのやり取りが表示されます。

ここに表示された内容は他の操作を実施するとメッセージが消えますが、「メッセージ (一時記録) .TXT」にも出力されています。消えた場合は「メッセージ (一時記録) .TXT」ボタンで確認してください。

メッセージ (一時記録) .TXT

# 無線機コントロール：無線機別設定

初期に起動したい機種番号を設定  
1台で使用の場合は「1」とします。  
未使用の場合は「0」を指定

ここに設定の上限周波数もモード設定の一部として使用します。

クリックし、R I G 選択（無線機関連の設定が抽出されます。）

ポート番号	項目	設定データ (直接修正可能)	説明文	分類
02030010	RIG	3	無線機使用有無及び起動時の無線機の選択。0=無線機未使用、1~3=無線機使用 [RIG No1~3] 起動時のリグ設定。「A 1」コマンド等自動でデータを送ってくる機種にのみ対応しています。(rigModeRoffとセットで設定)	RIG
02030030	RIG_No1	<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)	入力例「<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)」:1台目のリグ設定、ポート等記録します。<ホ>[ホ<->レイト](リグ判別記号TS-990 FT-5000)	RIG
02030050	RIG_No2	<3>[9600,N,8,1](IC-&H6A)	⇒ 以下2台目以降を記入します。注意 ホ<->レイトの区切りは半角のコン「,」です。各種それぞれの括弧で区切ってください。	RIG
02030070	RIG_No3	<10>[9600,N,8,1](FT-991)	⇒ 記入内容 <ホ<->レイト>[ホ<->リティ,8ビット,ストップビット](リグ名リグ判別記号等)アイテムについてはアドレスを記入、八重洲はタイプを記入「例:<5>[9600,N,8,1](FT-A)」:A(旧タイプ)=FT2000、5000、等、B(新タイプ)=FT-991、FT-DX101、等	RIG
02030090	IC-KEYpat	1	0=未使用、1~4=使用、アイコム等の外部キーパットの内容切替の有無、初期値(通常1)を記入します。	RIG CW
02030110	rigModeRoff	2	リグ使用設定時の全メーカー (RIG使用設定時)、0=モードのみ未処理(旧型無線機)、1=周波数から判定(旧型無線機)、2=デジタル判定可能な新型機種無線機	RIG
02030310	rigFilterDig	02	リグのデジタル時のフィルター番号を設定します。01~03	RIG
02030320	rigFilterCw	02	リグのCW時のフィルター番号を設定します。01~03	RIG
02030340	rigFilterSSB	02	リグのSSB時のフィルター番号を設定します。01~03	RIG
03000110	CwUpFrc	3.528 7.033 10.130 14.070 18.099 21.070 24.920 28.070 50.119	CWの上限周波数を設定します。未記入の場合はJARLの設定周波数となります。	CW FREQ RIG
03000130	PskUpFrc	14.079 21.080 28.080	PSKとRTTYの区別が必要な周波数のみPSKの上限周波数を設定します。設定周波数は CW_FRQ <= PSK_FRQ <= RTTY_FRQ <= SSB_FRQ となります。	RTTY PSK FREQ RIG
03000150	RttyUpFrc	3.530 7.045 10.130 14.112 18.111 21.125 24.940 28.150	RTTYの上限周波数を設定します。未記入の場合はJARLの設定周波数となります。	RTTY PSK FREQ RIG
31000010	StartRigName	IC-7800	起動時の無線機名を記入します。プルダウンで「無線機名」を選択するとここへ書き込まれます。	Rig
31000030	StartPower	400W	起動時の電力(入力 or 出力)を記入します。「パワー」を選択するとここへ書き込まれます。	Rig
38100010	RIG_SPL_Frequency	1 5 1	モード別スプリット周波数を設定します。(左からの順番⇒CW SSB RTTY) 半角各5バイト(内有効値3バイト)ずつです。	RIG

モード別のフィルターを設定します。

- 0 : モードをコントロールしません
- 1 : FT-5000、FT-2000、等のデジタルモードのコマンドのないもの
- 2 : FTDX-101、FT-991、IC-7851、等Digitalのコマンドの使用できるもの

途中のデータは各自が使いやすくするように適宜増減してください。  
-----以下「FRQ」データ ⇒ 「トット[,]」と「コン[,]」に要注意  
\*モードとリンクさせるには「<FRQ>14.074.0 ,FT8」のパターンで登録してください。周波数と文字の間は半角の[スペース]+[,]コンで区切ります。  
「[,]」コン または、右のモードが未記入のものについては、モードコントロールは行いません。  
「[,]」コンの後のモードに優先的に設定されます。<FRQ>1.840.0 ,FT8、<FRQ>14.091.0 ,RTTY、  
<FRQ>CLS  
<FRQ>1.836.0 ,FT8  
<FRQ>1.840.0 ,FT8  
<FRQ>1.844.0 ,FT8  
<FRQ>1.838.0 ,FT8  
<FRQ>3.573.0 ,FT8  
<FRQ>7.074.0 ,FT8  
<FRQ>7.075.0 ,FT8  
<FRQ>7.078.0 ,FT8

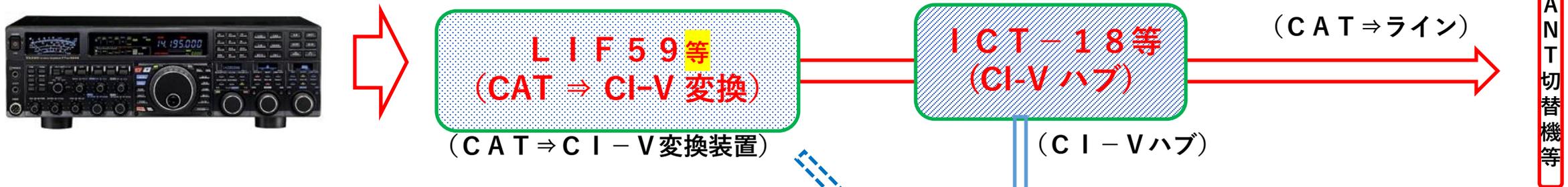
CONFIG.TXTに設定している周波数とモードでFT8、FT4のモードを判定します。

● **C I - Vからの周波数とモードの取り込み**：L I F - 5 9 や I C T - 1 8 (CT-17) を使用します。

C A Tデータを疑似的にC I Vに変換したものを「ICT-17」等を通じて周波数を取り込みます。

J T D X等にリグのポートが使用され「COMポートが足りない」ためにB G A L O Gへのリグ周波数やモードが取り込めない場合の方法)

**注意**：C I V⇒C A Tへの変換装置がないためにリグをコントロールできませんので無線機のCOMポートが取得可能の場合などの場合はそちらを選択してください。(注意：LIF-59からはK h z単位以上の周波数が変化した場合のみC A Tラインに出力されます)そのため、細かい1 0 0 H z単位は不正確なものとなります。



L I F - 5 9 : C A T ⇒ C I V 変換  
他の装置によりC I - Vが出ている場合は不要です。  
LIF59の場合はアドレス = [&H5E] です。

I C T - 1 8 (CT-17等) ハブ  
他のプログラムで使用されていないことが条件です。  
使用されている場合は、もう1個追加してください。  
LIF-59のポートが他に使用されていない場合などで使用可能の場合はそれを使いますので不要です。

L I Fが他の機器に使用されている場合はICT-18 (CT-17等)を接続すると新たなポートが取得できますので、そのポートをB G A L O Gに使用してください。そのポートからC I - Vのデータを取得します。

環境設定等は次ページ

**ペディション等の抽出** : クラブログ登録、ペディション局、ウォンテット局で「星取表」未QSO局を抽出

**年間ニュー** : 当該年でのニューとなる局を抽出

**CPW 星取New** : クラブログ登録、ペディション局、ウォンテット局で「星取表」未QSO局を抽出

**星取New** : 未交信のクラブログ登録、ペディション局、ウォンテット局で「星取表」未QSO局を絞込表示

**過去QSO済除く** : 抽出済データの中から未QSOの局を絞り込みして表示

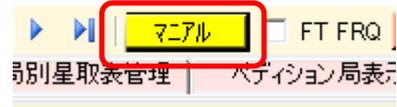


#### 抽出結果例

09/09 18:47 C	24.916.7 FT8	9G5FI		0946 9G	[24DIG] </ L>
09/09 18:37 C	24.893.0 CW	9G5FI	TOM PSE CW	0936 9G	[24CW] </ L>
09/09 18:06 C	24.915.7 FT8	9G5FI		0905 9G	[24DIG] </ L>

#### その他は次で確認

Game Adventure Logbook )



**P-1** 目次 **P-2** テルネット画面一覧 **P-3** テルネット画面検索ボタン (DXCC) **P-4** テルネットメイン画面 **P-5** J-クラスター検索ボタン **P-6** J-クラスターフィルター画面 **P-7** DXCC ⇄ J-クラスター画面切替 **P-8** バンドスコープ等画面、(バンドスコープ、ペディション、DXCC) **P-9** バンドスコープ等画面の活用 **P-10** 局別星取表管理画面 **P-11** ペディション局表示画面 **P-12** テルネット画面オプション画面 **P-13** 補足説明 (テルネット画面の終了・起動方法、テルネット画面の接続について、リフレッシュボタン) **P-14** その他のデータベース (他DB) ———以下質問の多い内容 **P-15** リグの周波数から運用局名判別、その局の情報収集 **P-16** フィルターから星取表QSO済を除く **P-17** 過去に交信済の局を除く **P-18** IOTA局のみを検索 **P-19** DXスケープを活用した検索 **P-20** テルネットデータ画面の色、その他画面表示 **P-21** バンドスコープの年間ニュー表示チェックボタン等 **P-22** バンドスコープの「クラブログ、ペディション、DXCC」QSO状況確認方法 **P-23** バンドスコープ画面オプション



# D X 穴埋ニュー、モードバンドニューの活用

: D X C C 登録 Not コンファーム局を一発抽出  
 テルネットから時局の D X C C リストのニュー一発表示します。

## D X 穴埋ニュー抽出

テルネットから取り込んだデータの内自局の穴埋以上のニューとなる局のみを抽出して表示します。

## モード・バンドニュー抽出

テルネットから取り込んだデータの内自局の D X C C 上のニュー (バンド [チャレンジ]、モード) となる局のみを抽出して表示します。



JA JA + local 穴埋 new M New B new

JA : JAからのレポートのみ表示  
 JA+Local : JA近辺局を含めたレポート  
 その右 : JA近辺からのNew分表示

通常表示

09/30 11:56	7.006.0 CW	924Y	QSX 7006.1 UP 0.10	0256 9Y	</ L>	G00RC
09/30 11:56	7.040.9 RTTY	W6LAX		0256 K		KV0I
09/30 11:55	7.030.0 CW	NN3W		0255 K		KV0I
09/30 11:54	7.029.2 CW	WJ9B		0254 K		KV0I
09/30 11:53	7.038.1 RTTY	N5TJ		0253 K		KV0I
09/30 11:53	7.036.5 RTTY	KG9X		0253 K		K1ZL
09/30 11:53	7.027.8 CW	W8FJ		0253 K	<TRR>	KA7MDM
09/30 11:53	7.033.8 CW	K4BAI		0253 K	<TRL>	K1ZL
09/30 11:52	7.032.4 CW	N1BK		0252 K		KV0AT

例: [50 DIG] 内はニューとなる内容

例: [=6M=] (=)月はDXCC登録上カウントされる内容

09/30 11:51	50.313.0 FT8	PT9FD	CQ	0251 PY	[50 DIG]	XE1MEX
09/30 11:28	50.313.0 FT8	LU3FL	TNX QSO	0228 LU	[50 DIG]	XE1MEX
09/30 11:25	21.074.0 FT8	5T5PA	FT8	0225 5T	[21 DIG] </ R>	924Y
09/30 11:24	50.313.0 FT8	PU5SIX	TNX QSO	0224 PY	[50 DIG]	XE1MEX
09/30 11:20	14.074.0 FT8	EL2BG	FT8	0220 EL	[14 DIG] </ R>	924Y
09/30 11:12	1.840.4 FT8	V01IDX		0211 VE	[1.9 DIG]	OH7KB
09/30 11:11	1.840.0 FT8	W1LH	TNX FT8 QSO	0211 K	[1.9 DIG]	DM2TS
09/30 11:03	50.315.6 FT8	HC2FG	FT8 FF99RF FI07BU -11DB	0202 HC	[=6M=]	LU5FF
09/30 11:03	50.313.0 FT8	TI200I		0203 TI	[=6M=]	LU4FPZ

09/30 11:03	50.315.6 FT8	HC2FG	FT8 FF99RF FI07BU -11DB	0202 HC	[=6M=]	LU5FF
09/30 11:03	50.313.0 FT8	TI200I		0203 TI	[=6M=]	LU4FPZ
09/30 10:59	50.313.0 FT8	TI200I	TNX QSO	0159 TI	[=6M=]	XE1MEX
09/30 10:57	50.313.0 FT8	TI200I	TEP FT8 +8 DB 2208 HZ	0156 TI	[=6M=]	PU5SIX
09/30 10:56	50.313.0 FT8	TI200I	FT8 -4 DB 2196 HZ	0155 TI	[=6M=]	PY4AQA
09/30 10:56	50.313.0 FT8	TI200I	TEP FT8 +9 DB 2209 HZ	0155 TI	[=6M=]	PY5CC
09/30 10:56	50.313.0 FT8	TI200I	FF46<TEP>EJ79XW -11 GRACIAS	0155 TI	[=6M=]	CE3SX
09/30 10:42	50.313.9 FT8	OA4EA	FT8 FF99RF FH17LV -13DB	0141 OA	[=6M=]</ R>	LU5FF
09/30 10:42	50.313.0 FT8	9Z4CH	FF46<TEP>FK90HM TNX	0142 9Y	[=DIG=]	CE3SX

例: </ R> ⇒ 左: カードの発送状況、中央: QSLカード受領状況、右: LOTWヒット状況  
 ↑ (R)のある局はLOTWがOKを意味します。

● 交信状況表示やリストが不一致となった場合 (FT8、年間ニュー、DXCC)

テルネット側のDXCCはメイン側のDXCCの複製であり、常時同期をとっていません。

そのため使用しているうちに交信データの削除・変更などによりメイン側と不一致となる場合があります。

また、年間DXCCなどはメイン側にはデータがありません。

これらを次のボタンにより修正することができます。

いずれのボタンも同じです。



24.	28.	50.	FT8(10Byte) 1.9Mhz ⇒ 50Mhz
			R
R			R
T			TT
T			TTT TTT
	T		R T
			T
T			T T

インティイ名とFT8のみでのQSO  
 左側DBグリッドはバンド別、右備考  
 = Entity名表示(初期)  
 = FT8年間QSO状況

過去  
 リスト作成年: 2022  
 リスト作成

**年間DXCC(再構築)**  
 次の一連の作業を実施します。  
 ① 全データ完全削除  
 ② BGADXCCLIST.TXT で更新  
 ③ FT リフレッシュ  
 ④ 年間DXCC(再構築)

通常はバンドスコープ内の[年間]ボ  
 タンで[①②]を除いた方法で構築  
 DXCCリストが追加・消滅、or、DB  
 が壊れた場合に使用

● FT8 (4)、Q65からの取込周波数：キャリア（基本）周波数の取込

次のチェックオプション「FT FRQ」未チェックの場合は標準でキャリア周波数へ変換して取り込みます。

(テルネットの検索画面 & バンドスコープ画面のみをコントロールします。)

「キャリア + シフト周波数」で取り込みたい場合は、チェックを入れて使用してください。

(設定状況は環境へ自動登録します。 -> 環境のバージョンを変更しましたので環境とプログラム不一致に注意願います。)

同時にリグもキャリアー周波数となります。

ワーク欄へのFT8取り込み時の周波数変換  
 = 基本周波数に変換して取込  
 = そのまま取り込み  
 (ワーク欄への取込周波数をキャリア周波数に変換)

14.076.5	FT8	CP1FF	FT8 THANKS FOR THE
7.074.0	FT8	VA3KL	FT8 -04DB FROM FNC
14.242.0	SSB	ND60	59 FLA OM
7.010.1	CW	C02HR	IOTA NA-015

C	18,100.0	RT 3D2USU	FT8	x	10,136.0	AF2F/W4	FT8
C	21,074.0	RT 3D2USU	FT8	x	10,137.4	CE6TK	FT8
C	28,074.0	TT 3D2USU	JAFT8	x	14,062.0	VK2IO/P	CW
x	1,821.0	R3ZJ	CW	x	14,074.4	KI5KEE	FT8
x	1,840.0	5B4VL	FT8	x	14,074.4	N6UNH	FT8
x	1,840.0	F5LQ	FT8	x	14,074.4	W8AW	FT8
x	1,840.0	R3VO	FT8	x	14,074.8	KJ7VR1	FT8
x	1,840.0	UR8MH	FT8	x	14,075.3	ZW16ZT	FT8
x	1,840.0	C HK4E1C	FT8	x	14,122.0	VE2GM0	SSB
x	1,840.0	C LU8DPM	FT8	x	14,149.0	VK2IO/P	SSB
x	1,840.0	C TI2CC	FT8	x	14,149.0	VK4KC	SSB
x	7,000.0	VK2IO/P	CW	x	14,200.0	VA7TU	SSB
x	7,012.0	OE120XGM	CW	x	14,248.0	WM9X	SSB
x	7,017.0	5P2C	CW	x	14,287.5	KC2MIB	SSB
x	7,018.0	UT5MD	CW	x	14,311.0	N9JF	SSB
x	7,026.5	I1MMR	CW	x	18,100.0	PY5XD	FT8
x	7,048.2	DK6CS	FT4	x	18,100.0	ZL25NZ	FT8
x	7,074.0	W7DO	FT8	x	18,102.6	VK1HX	FT8
x	7,074.0	ZL1CVD	FT8	x	18,120.0	KB5YN	SSB
x	7,074.0	* LB6NI	FT8	x	18,136.0	ZL1MRC	SSB
x	7,074.7	UR2VA	FT8	x	18,148.0	VK4KC	SSB
x	7,139.0	VK4KC	SSB	x	18,152.0	ZL1MRC	SSB
x	7,140.0	PY3VOR	SSB	x	21,074.0	JG1SYK	FT8
x	7,188.0	KI5LKS	SSB	x	21,074.0	LU9ESD	FT8
x	10,113.0	OK5MM	CW	x	21,076.1	8N00LP	FT8

W8AW

FT8 14,074.0 -15

備考1検索

LOTW=OK

環境設定等 (前ページに続く)

RIG

を選択

B G A L O G での設定場所 (環境設定、CONFIG.TXT)

環境設定

八重洲の機種であっても [IC-&H5E] の様にその機種のアドレスで登録 RIG\_No1NAMEは使用している [FT-9000、FT-5000] 等適宜でOK

ソート番号 ▲	項目	設定データ (直接修正可能)
02030010	RIG	1
02030030	RIG_No1	<3>[9600,N,8,1] (IC-&H5E)

次の様に [1] の [周波数から判定] を選択 (最新機種は [2] を選択)

02030110	rigModeRoff	1	RIG使用設定時の全メーカー (RIG使用設定時)、0=モード未処理 (旧型無線機) (FT-5000等、旧型無線機)、1=周波数から判定 (IC-7800, FT-DX101, TS-890等、全メーカーの新機種)、2=デジタル判定可能新型機種無線機 (IC-7800, FT-DX101, TS-890等、全メーカーの新機種)、3=アイム26コマンドはモードのみ3秒毎に使用 (JTDX等のコリジョンエラー多の場合)、
----------	-------------	---	---

モードの上限周波数を好みで設定 (第2優先)

03000110	CwUpFraq	3.528 7.033 10.130 14.070 18.099 21.070 24.920 28.070 50.119
03000130	PskUpFraq	14.079 21.080 28.080
03000150	RttyUpFraq	3.530 7.045 10.130 14.112 18.111 21.125 24.940 28.150

CONFIG.TXT

FTモードの判定に使用しこの設定が (最優先) となります。

終了 CONFIG.TXT修正 リードオンリー解除



```
<FRQ>50.313.0 ,FT8
<FRQ>50.314.0 ,FT8
<FRQ>50.315.0 ,FT8
<FRQ>3.575.0 ,FT4
<FRQ>7.047.0 ,FT4
```

CONFIG.TXTへ周波数とモードを記載している場合は最優先で設定されます。  
[Khz] 以下は無視されますので [.0] としてください。(フォーマットに注意: コロンとドット)

# ○ 年間QSO、DXCC欄の整合：DXCCリストとFT8画面の内容が異なっている場合の整合方法

[目次3へ](#)

## 一般的なDXCCリスト等の整合方法

メイン側：マスターのDXCCリストを使用し、通常の登録時にはそのカントリーリストと自動整合を実施



「全カントリー再整合」QSOデータを業務日誌欄を追加・削除等で不一致となった場合は「FT8保守」「DX保守」により整合の実施ができます。（業務日誌全体で整合のため処理時間がかかります）

「ワーク欄記入のカントリーのみ再整合」（処理時間は一瞬です）

①



②要時間

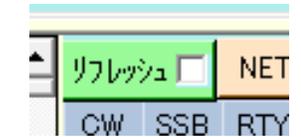


③高速処理



TELNET：PC起動時にメイン側のリストをコピーしたものによりテルネットの入力時のデータをチェック  
メイン側と同期をさせる

④



年間DXCC：年間DXCCリスト（テルネット画面で管理）QSO直後に正しくないなどの場合

FT8画面：テルネット側のDXCCリスト、により表示

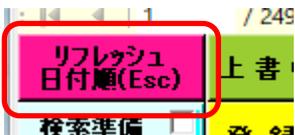
⑤



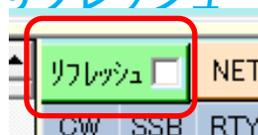
## FT8画面のみでDXCC、年間DXCC、過去のQSO状況などがおかしい場合

次を順次実施してください。

・メイン側リフレッシュ



・テルネット側  
リフレッシュ



・バンドスコープ内  
「年間」



（年間DXCCリストを更新し  
[年DXCC.TXT]を作成(更新)）

## 業務日誌画面内容とリストがおかしい場合

過去のデータを手動で修正した場合等でリストと不一致となった場合：データ量に元づく処理時間が必要）



IC-7851等の最新機種でのコリジョン（データの衝突）防止：桑原OMのCT-17を利用しての設定方法

COMポートの衝突  
を避ける  
COMポートは共有が不可



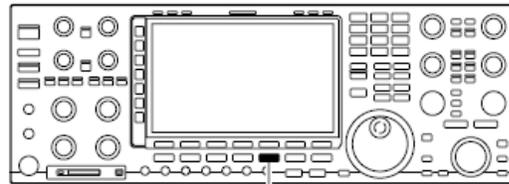
CT-17のCOMポート③を指定  
(JTDXと逆でもOK)  
BGALOGからはモードのみ要求、周波数はリグ  
より自動垂れ流し



仮想のCOMポートを指定  
(BGALOGと逆でもOK)  
COM④:JTDX、  
COM⑤:PTT

[ICT-18 (CT-17) 等]  
CI-Vのラインで共有  
(COM③:リグコントロール端子)

要変更



CI-V USB Port (初期設定：Link to [REMOTE])

[USB B]ポートのCI-Vポートと[REMOTE]ジャックを本製品内部で接続するかどうかを設定します。

- Link to [REMOTE] :  
USBポートのCI-Vポートと[REMOTE]ジャックが本製品内部で接続されます。
- Unlink from [REMOTE] :  
USBポートのCI-Vポートと[REMOTE]ジャックが独立した状態で動作します。  
(全二重で高速通信できます。)

CI-V USB Echo Back (初期設定：OFF)

[USB B]ポートのCI-Vポートを利用して、本製品を外部コントロールするとき、データをエコーバックするかどうかを設定します。

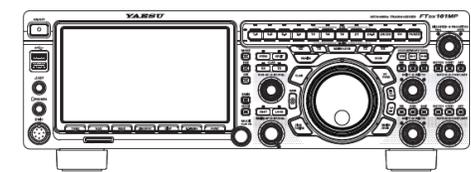
- OFF : データをエコーバックしない
- ON : データをエコーバックする

※「CI-V USB Port」項目で、Unlink from [REMOTE]を選択したときに動作します。

CI-V内に複数の機器からのコールによる衝突（コリジョン）を避ける  
1つのライン上に多くのデバイスからの要求が行われますと当然コリジョンを起  
こしてしまいます。  
これを避けるための方法です。  
この方法はリグ側で行う必要があります。

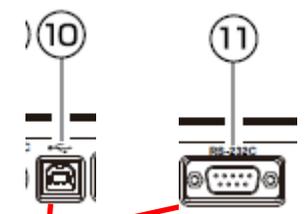
FT-DX101 (FT-991) で FT8 : リグの設定、JTDX等、設定方法  
ポート番号は各自の接続により変化します。  
それぞれのラインのボーレートは一致させておく必要があります。  
以上で特別なツールを使用しなくともOKです。

リグ主な変更設定場所: RADIO SETTING、  
MODE PSK/DATA:MIKE REAR、DATA⇒USB  
OPERATION SETTING、  
232C RATE4800⇒9600(適宜)、キャットRTSOFF、



<4>[38400,N,8,1](FTDX101MX)

USB端子 RS232C端子



PC⑩にUSBを接続するとCOM4、COM5が作成された場合  
COM4をBGALOGへ接続します。  
シリアルポートに「USBtoシリアルケーブル」を接続した場合に作成されたポートCOM⑪をJTDXのリグとして割り当てます。  
COM5はPTTコントロールとして使用します。  
注意点: リグに合わせたケーブルは通常ラインがリバースされております。  
それにより接続に失敗して使用できない場合はリバースの変換器を購入してストレートに戻してください。(八重洲の設計ミス?)

⑩接続でCOM4、COM5、⑪接続でCOM11が作成された場合の例

ポート (COM と LPT)

- Prolific USB-to-Serial Comm Port (COM11)
- Silicon Labs Dual CP2105 USB to UART Bridge: Enhanced COM Port (COM4)
- Silicon Labs Dual CP2105 USB to UART Bridge: Standard COM Port (COM5)

注意: BGALOGは [AI;] コマンドを使います。JTDXは [FA;] コマンドで秒単位での取得  
リグのRS-232Cは [FA;] コマンド OK [AI;] コマンドは使用不可 (ポートの指定方法に要注意)

JTDX側の例



(次ページも参照)

リグ: Yaesu FT-DX101D

CATコントロール

シリアルポート: COM11 **COM 11**

シリアルポートパラメータ

ボーレート: 9600 **9600**

データビット:  デフォルト  7  8

ストップビット:  デフォルト  1  2

ハンドシェイク:  デフォルト  無し

PTT 方法

VOX  CAT  DTR  RTS

ポート: COM5 **COM 5**

オーディオソースを送信

Rear/Data  Front/Mic

モード

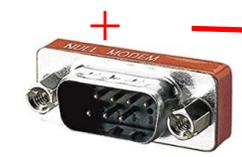
無し  USB  Data/Pkt

スプリット操作

無し  リグ  Fake It

CATテスト PTTテスト

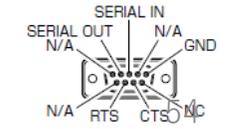
当方の購入例



⑩ USB  
市販のUSBケーブル(Type B)を使用してパソコンを接続し、パソコン側からCATコマンドによるリモートコントロールが行えます。また、オーディオ信号の入出力や送信制御も行うことができます。

! パソコンからのリモートコントロールを行うには、USBドライバーが必要です。USBドライバーに関しては、当社のウェブサイトをご覧ください。

⑪ RS-232C  
市販のRS-232C用ストレートケーブルを使用してパソコンを接続し、パソコン側からCATコマンドによるリモートコントロールが行えます。



エレコム シリアルリバースアダプタ D-Sub9ピンメス - D-Sub9ピンオス 延長・変換用 AD-R9

# FT-DX101 設定 (FT8 関連変更部分のみ)

RS-232CをFT8で使用してBGALOGをUSB経由で使用方法

## RADIO SETTING

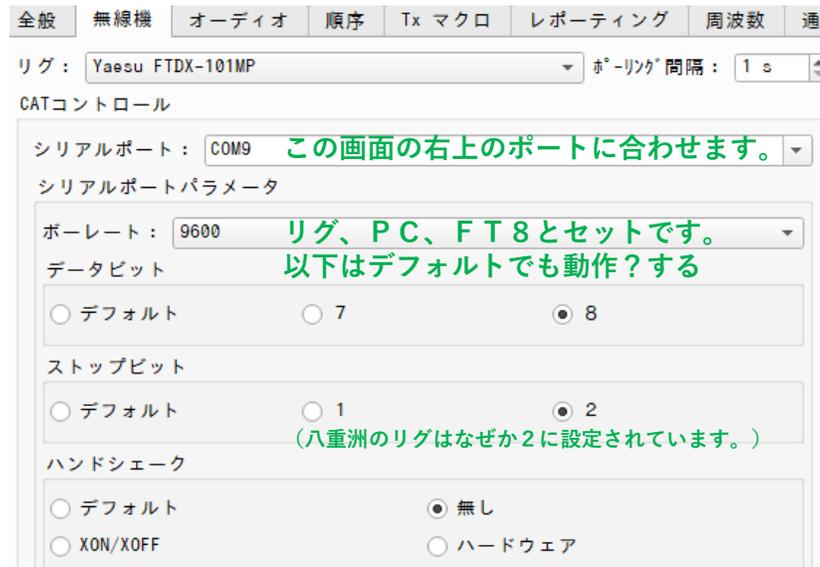
PSK/DATA (黄色のマーカー部分以外は好みで使用)

- ★ LCUT FREQ 300Hz ⇒ 200Hz
- ★ HCUT FREQ 3000Hz ⇒ 3000Hzよりいくらか大きい数字
- ★ TX BPF SEL 300-2700Hz ⇒ 50-3050Hz
- ★ DATA MODE SOURCE REAR
- ★ REAR SELECT DATA ⇒ USB
- ★ RPTT SELECT RTS (八重洲の推奨)
- 画面内のR. FIL 3KHz
- ★ R. FIL

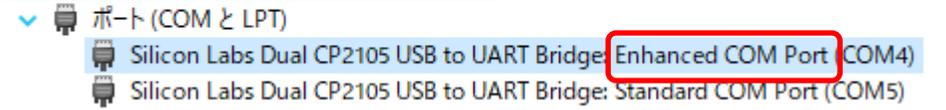
注意：以上でFTDXとFT-DX101MP間、相互に完全コントロールできます。あとは、各フィルターを好みで設定してください。



PCのサウンドを指定するとスカイプやPCのサウンドとコリジョンを起こしてしまい、デコード率が悪くなります。(上のコーデックがある場合はこれを指定してください。)



## VSPE (仮想COMポート)



Enhanced COM Port を使用します。Standard COM Port はPTT用ですのでCATコントロールとした場合は使用しません。CATを使用しない場合はJTDXにそのポートを記載してください。Enhanced COM PortをJTDX等に使用した場合はBGALOGでのコントロールが出来なくなります。



COM5はキャット仕様の場合には未使用  
キャット以外の場合はRTSを通してPTTをコントロールします。

リグに設定

指定なしとすると高調波の幽霊に注意が必要  
送信はサブで使用するため [リグ] を選択 [Fake It] とするとメイン側の周波数がJTDXにコントロールされ取込周波数が変化します。(スプリット周波数を加算)  
スプリットに設定するとリグの [AorB] のいずれかがコントロールされます。

## FT8からのコールサイン取り込み時の周波数の扱い

リグの設定、JTDX等、LOG間のいずれかが非同期の場合の設定方法

周波数不一致の場合、初期値は「0」で右のようにその都度確認があります。

無線機、FT8、BGALOGを全て同期できていない場合の周波数の扱いについてその状態により取り込む周波数が異なってきます。

いろいろな意見と要望がありましたので各自の扱いに合わせて選択出来る様にオプション化しました。

リグ、LOG、FT8のソフト間の全てが同期出来ている場合は差異が発生しませんのでこの処理は不要です。

JTDX等からの周波数はキャリア+サブとなっています。

LOGへの取り込み時はそのキャリア周波数に変換して取り込みます。

一応キャリア周波数はチェックしてプログラムしていますが、キャリア周波数が正しくない場合はプログラム内で修正しますのでレポートしてください。

定型的に取り込む場所を固定したい場合はメインオプションで事前に変更設定してください。

直接修正する場合の環境設定の場所は次の場所

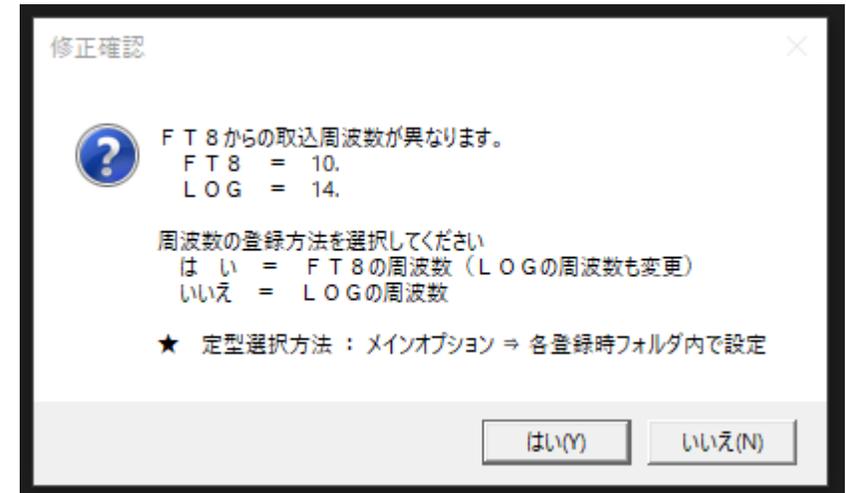
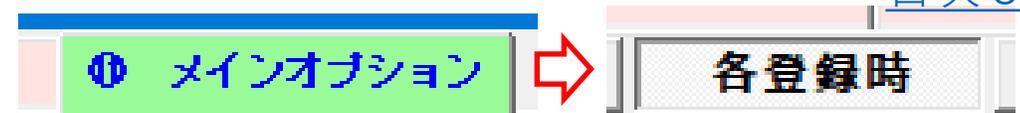
次により各自の使用方法に応じて選択してください。

(初期値は「0」となっています。)

(FREQ or FT8 で絞り込んで変更してください。)

003000210 FT8inputFRQ 0 || FT8とLOGのバンド差異時の周波数の扱い。

0 = その都度選択、1 = BGALOGの周波数優先、2 = FT8の周波数優先 :# FREQ FT8



- 1 FTでの交信時の周波数取込の扱い
- 0 : JTDXの周波数を未取込  
リグコントロールにより自動取込  
リグ未コントロールでプルダウンメニュー等から周波数を自分で設定
  - 1 : JTDX周波数から標準周波数に自動変換して取込
  - 2 : JTDXの周波数を未修整でそのまま取込
- ※ [0、1] の場合は [Mhz] まで異なる場合は修正メッセージが出ます。  
 ※ FT8からは基本周波数+キャリア周波数で帰ってきます。  
 (例: 14.070.0でのシフト 2.63Kc の場合 帰りは 14.076.3 )  
 周波数欄に表示されている基本周波数取得できないのでそれを取り込むための方法です。

帯域幅を200~3000に狭める



# FT8デコード：CPUの能力とデコード設定について

デコードの最適設定方法：意外と見ていない説明文を紹介します。

※ 開始帯域幅

次の例では「Lag」がまだ[+0.4]より少ないのでデコードを深くしてもOKですが、[+0.4]より大の場合はデコードを浅くしてください。

平均=0.05 Lag=+0.36/10

この部分にマウスを当てると表示されます。

timeLag  
数値はデコードの都度変化します。

timeLag  
デコードは多い方がよいのですが、タイムラグを少なくしないと相手とのタイミングがずれ交信が出来なくなるなどの問題が発生します。

★相手とのリトライ回数の多い方は要注意

現状の設定状況

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

ファイル	表示	モード	デコード	保存	AutoSeq	DXpedition	その他	言語選択	ヘルプ
UTC	dB	DT	Freq	平均=0.05	Lag=+0.36/10	音声の喪失 1			
224645	-11	0.2	733	8P6QA	DS1JFY	-17	HL		14.074 000
224645	-19	0.2	2795	~ CQ	JK3HF				
224645	-14	0.0	922	~ 407CC	AC5AV				
224645	-3	0.1	1937	~ CQ	VK6EI				
224645	-5	0.2	2596	~ JH8ISO	N5K0				
224645	-10	1.4	215	~ YG0VUT	VK4M0				
224645	-3	0.2	1009	~ WD4NGB	BG				
224645	-12	0.2	1977	~ KL7DG	AB5VJ				
224645	-20	0.2	2234	~ CQ	AG7GB				
224645	-16	0.2	558	~ W6B	JL1VAL				

平均：現在のバンドのデコードされた信号の累積平均DT。  
Lag：次の送信の開始に対して相対的に計算されたデコーダLagです。負の値は、デコード深度を増やすために利用できる時間があることを意味します。正の値は、TXまたは次のインターバルへのデコーダのラグであり、信頼できる信号送信のためには選択したデコード深度では十分なCPUリソースがない可能性があります。  
Lagは、CPUパフォーマンス、ノイズ条件、帯域幅の充実度、およびコンピューターを使用するその他のプログラムに依存します。ウォーターフォールの帯域幅を減らすことで、Lagを減らすことができます。Lagが常に負の場合、CPUはインターバルデコードを適切に処理し、より多くのデコードを取得するためにデコードをより積極的にすることができます。  
FT8：Lagが0 - 0.4の場合では、AutoSeq 3/7を使用できます（autoselectは、完全なメッセージを送信するのに十分早く、TXメッセージの変更をトリガーします）。Lag > 0.4の場合、デコードの深さを浅くするようにしてください。それでもラグ > 0.4の場合、AutoSeq 2/7を使用する必要があります。AutoSeq 3/7での送信時に、着信呼び出しへの応答が部分的に破損するためです。常にラグ > 2である場合、CPUは現在のデコーダ設定でFT8で動作するのに適していません。もちろん、SWLとしては監視できます。  
/ xx：最後のピリオドでデコードされたメッセージの数。

**★ 0.4を超える場合の対処方法**

- デコード数を浅く（速度優先）に設定変更する
- ウォーターフォールの帯域幅を狭くして負担を軽くする
- 2.0を超える場合はPCをCPU能力の高いものに交換が必要

デコード 保存 AutoSeq DXpedition その他 言語選択 ヘルプ

FT8スレッド g=+0.33/20 Band Activity 14.074 C

FT8デコード ▶ **ワイドバンドデコード** 浅く（速度優先）

FT4デコード ▶ ナローフィルタ 中間

JT9 WSPRデコード ▶ デコード周期 ● 深く

SWLデコード周期

QSO RX 周波数の感度

検索

デコーダ

デコード 保存 AutoSeq DXpedition その他 言語選択 ヘルプ

デコーダの FT8スレッド g=+0.04/8 音声の喪失 1 14

FT8デコード ▶ **ワイドバンドデコード** ● 浅く（速度優先）

FT4デコード ▶ ナローフィルタ ● 浅く（速度優先）

JT9 WSPRデコード ▶ デコード周期 ↑ 中間

SWLデコード周期 ▶ SWLデコード周期 ↑ 深く

デコード数を浅く（速度優先）に変更すると次の様に 0.33⇒0.04と数値が改善できます。CPUに合わせて選択

# FTデコード取込画面 - 1

★ 説明を表示

ヘルプ表示にマウスを合わせる  
 その他は各ボタン等にマウスを合わせる

★ 先頭の検索状況記号の意味

記号 左から4バイト

(4バイト超えの場合は4バイトまで表示)

- C : クラブログ登録局 (自動表示)
- P : ペディション登録局 (自動表示)
- W : ウォンテット登録局
- < : ウォンテット登録局が呼ばれている
- # : ウォンテットカントリー登録局
- M : 自局のコールサイン表示
- \* : メイン画面コールサイン欄記載局
- レ : [局 or 登録プリフィクス] 登録
- \$ : 年間ニューでバンド未交信局
- L : LOTW登録局(オプション表示)

★ 最前面に表示

前面 にチェックを入れると最前面に表示

★ 表示内容の消去

クリア をクリック

取込済のFT8表示データを削除  
 ・ MSG. TXT に削除前の内容を書き込みます。

検索局非表示	FK8HA	マニル
JE2CGR HS2KYA 73	QR HS (1)	F :
BG6QEW PY7RP R-19	QR PY (0)	:
VK4JAO BG7QBS 0L53	QR BY (0)	:
* FK8HA RA0SAT -03	QR UA0 (0)	:
CQ RA0Z1J 0002	QR UA0 (0)	:
* FK8HA RV7B/9	QR UA1 (0)	:
==== Time = 12 : 30 ===== Frq = 28.074 =====		
UN1L JE1WAF 73	QR JA (1)	F :
UN1L JA1LZB PM95	QR JA (4)-D-	FF FF :
* RA0SAT FK8HA R+00	QR FK (0)	:
HS4QKN JA1CUF PM95	QR JA (0)	:
RY2ANV R0000M 12	QR BY (0)	:

検索状況の記号

本文メッセージ

DXCC (穴埋め状況: R受領済: N未交信)  
 年間QSO (Qは交信済: N未交信)

DXCCカントリー

過去の交信回数

デュープDXCCニュー状況

バンド別交信モード (バンド別最終交信状況)

ヘルプ表示 前面 クリア- ウォンテットCaI A D ウォンテットPre A D 検索局非表示 FK8HA マニル

画面ヘルプ (左から)  
 ----- サンプル例 -----  
 CQ FK8GX RG28 -R FK (2)-D-:14, JT65<GL>:  
 記号 メッセージ 年間 PRG (回)DXCC|バンド^QSO

-----

取得時間 周波数  
 ===== Time = 45 : 00 ===== Frq = 14. =====

記号 左から4バイト (4バイト超えの場合は4バイトまで表示)

C : クラブログ登録局  
 P : ペディション登録局  
 W : ウォンテット登録局  
 < : ウォンテット登録局が呼ばれている  
 # : ウォンテットカントリー登録局  
 M : 自局のコールサイン表示  
 \* : メイン画面コールサイン欄記載局  
 レ : [局 or 登録プリフィクス] 登録  
 \$ : 年間ニューでバンド未交信局  
 L : LOTW登録局(オプション表示)

-----

本文 : CQ FK8GX RG28 : Message = UDP取込内容

-----

(2) 左側 = オールバンドでの年間QSO  
 - : [スペース]=全New, [-]=バンドニュー, [Q]=バンドQso  
 (2) 右側 = FT8 M I Xでの年間QSO  
 R : FT8でのQSO、Frq, Mode別DXCC:T=Qso, R=Received, Space=New

-----

FK : カントリー表示、Option (Prefix, Entity, 非表示)

-----

過去交信状況等 (Option)  
 (2) = 過去単純QSO回数  
 -D- = FT8 & 同一周波数でのデュープ  
 -\$- = ALL DXCCリスト New (Frq, Mode)  
 交信内訳 = Frq, Mode<QSLT, QSLR>

-----

表示コールサイン等クリック  
 コールを [クリック] : [コールサイン] をメインの [局] 欄へ取込+検索  
 コール、Preを [Ctrl] + [クリック] : 同 [pre, 局] 欄へ取込のみ  
 GL番号を [クリック] : GL番号取込&同一GL (4桁) で検索

## FTデコード取込画面 - 2

ヘルプ表示  前面     検索局非表示

- ★ 複数のウォンテット局を登録し表示の都度確認する  
半角のスペース区切りで登録

現在の [ウォンテット プリフィックス] には次が登録されています。  
ここをクリックで直接 [登録・修正・削除] が出来ます。  
XW4KV \*\*\*\*\*

修正後は [環境登録] ボタンで登録してください。  
(MAX登録容量) : 250 バイト

- ★ 珍カントリーや集中的に交信したいカントリーを表示  
半角のスペース区切りでDXCCリストのカントリーを登録

現在の [ウォンテット プリフィックス] には次が登録されています。  
ここをクリックで直接 [登録・修正・削除] が出来ます。  
3YB 7X C31 CY0 CY9 FR/J HH P5 P5 PY0T SV/A VP8H VP9 YV0 ZS8 Z6 XW K VK

修正後は [環境登録] ボタンで登録してください。  
(MAX登録容量) : 250 バイト

- ★ 簡単「登録・削除」    
メインの [コールサイン] [プリフィックス] を登録  
登録 : A ボタン  
削除 : D ボタン

- ★ メインの検索局の「表示・削除」

検索局非表示     
検索局非表示     
検索局

メインのコールサイン検索局を表示  
その局が見えると記号欄に [\*] で表示  
コールサイン状態をクリックすると削除

\* H44SHD UA9UX -06  
\* H44SHD JA1FJJ +02

	CQ	VK5UW	PF94	QR	VK	(0)	
		VR25XMT	UN9FF	M071	-R	UN (0)	
<		XW4KV	JR6YAA	PL36	QR	JA (0)	
		CQ	R9SS	L071	QR	UA0 (0)	
		CQ	DS1JFY	PM37	QR	HL (0)	
		JL1ELQ	AP22Y0TA	-20	-R	AP (0)	
		CQ	BG4UCZ	PM02	QR	BY (0)	
W#		CQ	RA3CQ	K085	Q	(0)	
		CQ	US	PY2ANY	GG66	QR	PY (0)
		CQ	HS2KYA	OK12	QR	HS (1)	
		4J7WMF	JR2UBS	R-19	QR	JA (0)	
		CQ	VK5COL	PF84	QR	VK (1)-D-	
		CQ	R0MQ	PN64	QR	UA0 (0)	
		BG5VEC	JJ1GLK	-01	QR	JA (2)	
\$		JA3QLG	FR5CB	73	FR	(2)	
		DV7A	JG1IMP	73	QR	JA (0)	
		RZ6L	R90BJ	R-20	QR	UA0 (0)	

- ★ マニュアル表示

FT「4・8」マニュアル を表示  
(この画面とは別の「FT8-JT65.pdf」をNW経由で表示します)

# ペディション画面

3D2USU

ir Tawil USU fallen King You will get very special 4 pages QSL card via OQRS Clublog request.

eam heading: 133° SR/SS: 18:09Z / 06:05Z Last QSO in database: 2021-09-09 05:26

Leaderboards Spots

JA5BGA Find QSOS

JA5BGA has worked 3D2USU on 11 out of 39 band slots  
Propagation from JAPAN / ZONE: 25 / Geo Propagation Map

Leaderboard for zone 25 / JAPAN / AS or in Club: JARL - Japan Amateur Radio League

	6m	10m	12m	15m	17m	20m	30m	40m	60m	80m	160m
FT8	NEW	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	NEW		NEW
SSB					✓			✓	NEW	NEW	NEW
CW									NEW		
FT4	NEW	NEW	NEW	✓	✓	NEW	NEW	NEW	NEW		

Request QSL

各星取表はペディション局との交信状況を一時的メモとして使用できます。表を0でクリックの都度：[スペース]⇒[T]⇒[R]⇒[スペース]とドグル変化。ペディション局別星取管理と連動で交信で[T]（使用例：交信確を認で[R]に変更）

クリックの都度ドグルスイッチ

- [スペース]
- [T]
- [R]
- [スペース]

※ クラブログで確認したものを記号で参考登録しておきQSO管理をします。（参考での登録一時管理）

連携

ペディション局	19C	19P	35C	35S	35R	35P	7C	7S	7R	7P	10C	10R	10P
3D2AG													
3D2AG/P													
3D2USU								R		R		R	
3Y0J													

クリックしてペディション終了のファイルを適宜削除してください。

3D2USU

16 CW SS RY 他

1.9 他

3.5

7 R R

10 R R

14 R R

18 R R R

21 T R R

24 R R

28 R R

50

QSO数計 = 10

3D2USU

9G5FI

KP4/AB2RF

5I3B

5I3W

クリック

PEDI

WANT

クリック

完全一致検索 (F3) 部分一致検索 (F4)

3D2USU

クリック位置と同一内容検索

コールサイン	日付 時間	モード
3D2USU	2021/09/08 08:14	SSB
3D2USU	2021/09/07 11:24	SSB
3D2USU	2021/09/02 08:52	FT8
3D2USU	2021/09/01 06:58	SSB
3D2USU	2021/08/31 11:38	FT8
3D2USU	2021/08/31 02:11	FT8
3D2USU	2021/08/20 06:57	FT4

交信局を表示し、該当局がテルネットにも登録されていれば抽出画面に表示

**画面の表示位置、標示・非表示、調整したい**：画面が再表示ができなくなった、現在表示の位置を記憶させておきたい等画面の位置を設定したり初期化したい。

• 全ての位置を初期化

メイン画面、テルネット画面、ペディション画面  
FT画面、RTC画面、分析画面、キーパット画面  
印刷画面、GLマップ画面、メッセージ画面、  
写真画面、キーパット、の画面を初期化

[ここをクリックでメイン画面での設定へ移動](#)



• 部分的に位置を変更・初期化

ツール画面	
画面表示位置設定	メイン画面幅等設定
ユーティリティ	初期化
外部ソフトからのインポート	wsjtx.logからの取込
エクスポート	JARL30周年記念
不正データチェック・自動補正	

現在の位置を記録	画面の位置をメイン画面の左上に表示に変更	その他
メイン画面 (現在表示位置登録)	ペディション画面 (位置初期化設定)	メイン画面の各項目の幅を標準化
テルネット画面 (現在表示位置登録)	QSL-DX画面 (位置初期化設定)	
印刷画面 (現在表示位置登録)	FTB (4) 画面 (表示位置初期化)	
分析・グラフ画面 (現在表示位置登録)		
キーパット画面 (現在表示位置登録)		
GL地図画面 (現在表示位置登録)		
オプション画面 (現在表示位置登録)		
RTC1画面のみ設定 注意⇒	RTC1とRTC2で共有使用 RTC2を使用すると登録情報が変わります。 ⇒ RTC1は固定位置使用 RTC2は終了位置を登録 いずれかを定めて使用してください。 RTC2を使用すると次回のRTC1はこのボタンで再設定が必要です。	

ディスプレイに画面が表示されなくなった場合など、全ての画面の位置初期化はメイン画面の「位置初期化」ボタンにて修復できます。その後、現在の位置記録ボタンで初期位置を登録してください。FT8など一部の画面は終了時の位置状態を記録しますのでここでは設定がありません。

• メイン画面の項目幅の調整、表示、非表示 設定

ツール画面	
画面表示位置設定	メイン画面幅等設定
ユーティリティ	初期化
外部ソフトからのインポート	wsjtx.logからの取込
エクスポート	JARL30周年記念
不正データチェック・自動補正	

設定項目	幅	フォント	設定項目	幅	フォント
1: コールサイン	121	14	18: 備考1	180	10
2: 日付	125	10	19: 備考2(設定は固定で不可)		
3: モード	47	10	20: IOTA	54	10
4: 周波数	79	10	21: JCC	53	10
5: 相手RST	38	10	22: グリッドロケータ	53	10
6: 自局RST	38	10	23: 画像	19	10
7: プリフィックス	51	12	24: 相手移動(設定は固定で不可)		
8: DXCC番号	35	12	25: 自局移動(設定は固定で不可)		
9: 氏名	122	10	26: QSL発祥用ソート(印刷時に表示)		
10: QTH	131	10	27: リグ(設定は固定で不可)		
11: マネージャ	60	10	28: 電力(設定は固定で不可)		
12: ペディション	19	10	29: 申請	43	10
13: ゾーン	55	10	30: (将来の予備項目)		
14: QSLT	19	10	31: (将来の予備項目)		
15: QSLR	19	10			
16: LOTW	19	10			
17: eQSL	19	10			

「0」に設定の項目は非表示となります。

★注意★  
 半角の数字以外を入力するとエラーになります。  
 フォントは「9~12」「14」「16」「18」以外使用不可

# 外部ソフト（ADIFファイル）からの取り込み、デュープチェック

ツール画面

画面表示位置設定 | メイン画面幅等設定 | メイン画面ツール | DXCC 保守・再構築 | IOTA 保守・再構築 | JCC 保守・再構築 | 各種アワード | WASA-HF

ユーティリティ | BGALOG QSOデータ 初期化 | 外部ソフトからのインポート | FT8 (4) データ取込 | エクスポート | JARLアワード関係 | 不正データチェック・自動補正

取込プログラム名選択で実行

BGALOG  
Logger32  
Turbo HAMLOG

上記以外の全てのプログラム

周波数未記入のバンド取込

160m ⇒ に読み替え  
80m ⇒ に読み替え  
3.5

「... .14 .7」その他のハイバンドは自動で  
。の様に自動で読み替えます

周波数にドットがない場合、はバンドデータ  
。を基に取り込みます

重複取込データ自動削除  
(ユーティリティ内のものと完全同一)

色々なパターンが想定され正しく取り込め  
ない場合もあると思います。

必ず事前に「バックアップ」を取っておいて  
ください。

正しく取り込めなかった場合は「ADIF」  
ファイルをお送りください。

ファイル選択にて取り込むファイルを選択してください。

ファイル選択 | ファイル表示 | 日付が未記入データ取込

FT8 (4) からの取込は右のフォルダーの「FT8 (4) データ取込」から実施

このインポート処理は、各プログラムで作成した「ADIF」ファイルをBGALOGに  
取り込みカントリーリストまでを完全処理を行うためのものです。  
JCCリスト、IOTAリスト整理は上の各ボタンで編集願います。

また、BGALOGは多機能すぎる為、(呼ぶ側としての使用はできませんが) コンテスト  
専用ソフトとして呼ばれる立場としての使用は少し処理速度に問題が出てきます。  
そのため、コンテストは他の専用ソフトを用いて使用しそのデータを取り込むためのソフト  
として作成しています。  
そのほか、他のソフトからBGALOGへの移行用としても拡大させていきます。

ここに記載のプログラムは対応済です。  
記載のないプログラムの場合はその他を選択してみてください。  
BGALOGからのエクスポートについては、ユーティリティを使用してください。

★ 注意 ★  
重複したデータを取り込むとインデックスエラーが発生します。  
今後のカントリー検索の機能向上の為、DXCC番号を中心にADIFデータの有無にか  
かわらず学習機能等よりカントリー等、次の項目は自動で取得します。  
記入済の場合はその番号により下記を実施、未記入の場合は ① プリフィックス ②  
PFX ③ CQZ 等のBGALOGに無い項目は備考2に取り込みます。

ここに表示されていないプログラムの場合は「プログラム名」、「ADIF」ファイルを  
お送りください。  
4万局のデータを取り込みに2時間を要したとの報告を受けています。

★ インポート(取込)前の確認 ★ (重要) マウスを当てて説明文を確認してください。  
<EOR>の後に改行【CRLF=CHR(13)】を追加。 入力【Input.ADI】 ⇒ 変換出力=【Change.ADI】

## インポート

- 1 ファイルを選択  
ボタンをクリックしてADIFファイルを選択し  
ます。  
選択を行うとすぐ上のテキストボックスにファイル  
名が表示されます。
  - 2 「上記以外の全てのプログラム」をクリック  
取り込みが開始されますので進捗バーが消えるまで  
お待ちください。
- ※ 取り込むファイルの内容確認 [ファイル表示]  
[ファイル表示] ボタンにより取り込むファイルの  
内容が右のテキストボックスに表示され確認ができま  
す。
- ※ デュープがあってもそのまま取り込みますが、取り  
込み後に「重複取込データ自動削除」ボタンにより削  
除することができます。

## デュープチェック (重複ファイルの自動削除)

### 重複取込データ自動削除

ボタンをクリックすると①同一コールサイン、②同一日時、③同一周波数、④同一モード、のデータがあれば自動的に削除されます。

削除されたデータは右のテキストボックスに表示され、「C:¥BGALOG¥MSG.TXT」にもその内容が書き込まれますので事後確認を行うことができます。

# ○ 未解決エラー：TCP/IP 接続等



## ★ テルネット接続時のエラー

テルネットはセッションにより常時接続状態を維持しています。この回線がなんにかの原因で一旦切れるとPCが接続状態であると認識しているためにBGALOG側から再接続を要求しても無視されコントロールが効かなくなりエラーが連発してしまいます。

## ★ リグやRTCなどのハードウェアコントロール時のエラー

この場合も上記同様で処理ができなくなる場合があります。

- **対応策** (**BGALOGの再起動** [PCのシステムはそのまま使用OK]) BGALOGを一旦終了させてから、再起動を行ってください。

## ★ 登録済データ不良によるエラー

プログラムを正しく動作させるにはは次のルールを守って登録しなければなりません。

- 文字、日付、数字、等の型、等
- 入力文字数の最大値、未入力 (ヌル)、等
- DXCC番号 (3桁の数字) などの項目特有の桁数、等
- DXCC番号、IOTAなどのように必要な場所に定められた必要な記号、等

これらについては入力の都度チェックを行い、想定していたエラーに対しては自動で補正していますが、想定外のデータが登録されてしまうと次回の検索時等に失敗してエラーが頻発します。

## • 対応策

右画面の「メイン画面のツール」から ⇒

不正データチェック・自動補正

の各項目ボタンをクリックしてそれぞれのデータを補正

## 再起動しても再度エラーが発生する場合

相手のサーバーがメンテナンス等でNWに見えない場合が有ります。



BGALOG再起動直後に接続先を変更してから再度、再起動を行ってください。

☆ bld.dxscape.com へ接続要求を実施 (数秒間無答の場合は次のことが考えられます) 「接続先がメンテナンス等でNWに接続されていない」などが考えられます。次を実施してください。 ①メイン画面で接続場所を変更してください。

## ● **ヌルチェックエラー**：ヌルチェックエラーの発生と解決方法

BGALOGはデータベースに**インデックス（唯一無二）**を設定して高速な検索を実現させています。

また、検索時にデータベースに何も記入されていない（**ヌル状態**は第3の文字種？）部分があると文字の種別（数字、日付、テキスト、など）が異なることから検索ができなくなりその部分にぶつかるとエラーが発生します。（検索は文字種別と検索文字のセットで検索します。）

### インデックスエラー：

この**インデックス部分**は「**唯一無二**」でなければなりません。

### ヌルチェックエラー：

例えばプリフィックスを部分を検索しようとした際に何も入力されていない未記入部分（**ヌル状態**）は「半角のスペース（テキスト文字種）であれば検索対象なしてOKですが、ヌルの場合は第3の文字種」であり異なる文字種のため検索そのものに失敗してエラーとなります。

（現在のデータベースの弱点であり、プログラム上は半角のスペースを挿入してこれが発生しないように工夫をしていますが、デリートボタンで削除した場合に問題となります。）・・・このヌルを発見するために各所にチェックして補正する仕組みとしています。

## 対策方法

右の各ボタンにて確認して修正してください。

### メイン画面



### ツール



### 不正データチェック・自動補正



各ボタンで「エラーはありませんでした。」を確認



エラーがある場合はその行をクリック⇒メイン画面に表示



### 修正

 〇=全て削除、レ=自分で修正', '前後のスペースのみ自動削除', 'コロン、ドットーの調整', 'スペース削除、FTC記号無、RST無、モード ⇄ RST整合性チェック', '⇄ [/MM]は表示されますが、無視してください。', 'QSL欄修正 変換前  ⇒ 返還後  〇=スペース、レ=R', 'LoTW欄 (日付有⇒R) 他変換前  ⇒ 返還後  〇=スペース、レ=R', '★ チェックの内容は随時改善していきますので定期的の実施してください。', '※ これらのチェック & 修正を行ってもエラーが出る場合は「BGALOG.ACcdb」をJA5BGA迄お送りください。'. At the bottom, there are buttons for '不正GL番号削除', '「不正データ」のピックアップ: 結果メイン画面表示 結果はメイン画面に表示されます。', and 'DXCC番号の整合性'."/>

● **ワンドライブの弊害** (毎回起動の都度バージョンアップが表示され、バージョンアップ直後はo kであるが再起動でバージョンが古くなる場合)

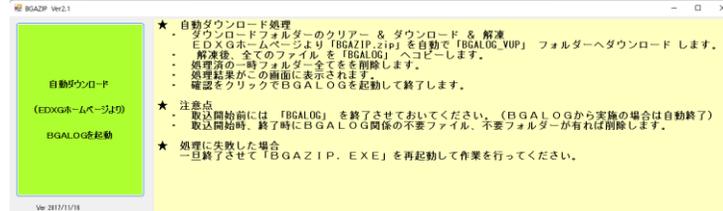
ワンドライブは他のP C間の共有が出来たり、P Cの入れ替え時にワンドライブの内容が自動的に新のP Cに取り込まれたり非常に便利ですが、次の点に注意してください。

ショートカットボタンを使用している場合次の症状となる場合、

ショートカット  
ボタン



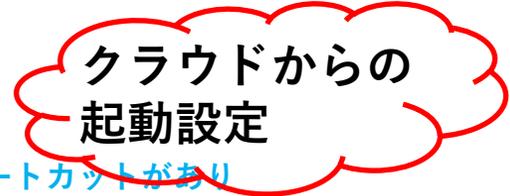
バージョンアップの案内が出る  
(バージョンアップ直後は正常に起動)



プログラム終了  
(正常に終了)



再起動  
再度バージョンアップの案内が出る



クラウド内にショートカットがあり  
ショートカットのリンクがBGALOG  
フォルダー以外となっている

**原因**

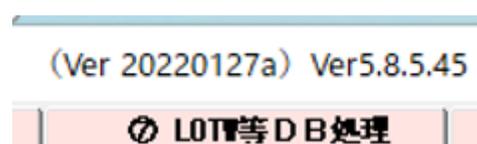
クラウド内にBGALOG. EXEがあり、バージョンアップでは、クラウド内のものが書き換わっていない。

**エラーとなる理由**

[BGALOG. EXE] はどのフォルダーにあってもデータ [BGALOG.ACCDB] は [C:¥BGALOG] 内のものを使用します。  
このため、プログラムは新しいがデータが古いために**プログラムとデータのバージョン違いによりエラー**となってしまいます。

**使用時の確認項目**

次の場所を確認して修正してください。  
ボタンのプロパティを確認

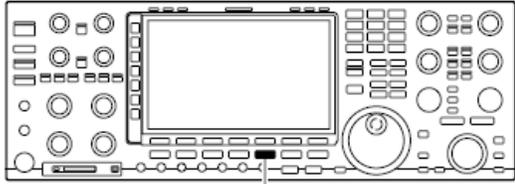


# 複数無線機のコントロール (BGALOGからのコントロールは最大3台)

複数の無線機をコントロールする当方の事例を紹介

※ **COM番号**は使い分けの参考値です。

無線機 1 : IC-7800  
FT 8 以外のモード



リモート端子

**A N T - 5 7 (1.9~50Mhz)**  
**(CI-V ハブ経由アンテナ切替機)**

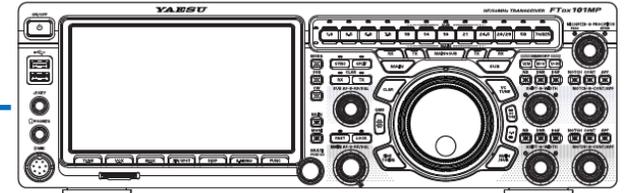
アンテナライン

**I C T - 1 8**  
**(CI-V ハブ)**

これより先は**CI-V**接続

コントロール  
CI-Vを基準としたコントロール  
FTDX101MPにおいてはBGALOGからはCATでAIコントロールします。  
ANT切替機等については、LIF59によりCAT⇒CI-V変換して統一を図っています。

無線機 2 : FTDX101MP  
FT 8 (4)専用



RS-232C端子  
(注:シールドケーブル、リバーケーブルは不可)

**USB端子 (COM4)**  
**BGALOG無線機 2**

**RS-232C端子 (COM3)**  
**BGALOG無線機 1**

B  
G  
A  
L  
O  
G  
コ  
ン  
ト  
ロ  
ー  
ル  
ラ  
イ  
ン

B  
G  
A  
L  
O  
G  
コ  
ン  
ト  
ロ  
ー  
ル  
ラ  
イ  
ン

## BGALOGによるコントロール内容

- ・ 2台のリグ切替え
- ・ アンテナ自動切替え
- ・ ローテーターコントロール
- ・ FT 8、周波数、等々
- ・ IC-7800=**COM3**、FTDX101=**USB仮想のCOM4**

## FT 8 コントロール

- ・ 都度の設定を変えないために無線機 2 を FT 8 専用
- ・ 無線機 1 はその他のモードで使用
- ・ ポートはLIF-59の**COM6**を指定
- ・ PTTは仮想ポートの**COM 5**を使用 (仮想 4 は BGALOG)

**L I F 5 9 (COM6)**  
**(CAT ⇒ CI-V 変換)**

FT8 CAT接続

JTDXライン ← アンテナライン

USB端子



USB to RS-232Cケーブル

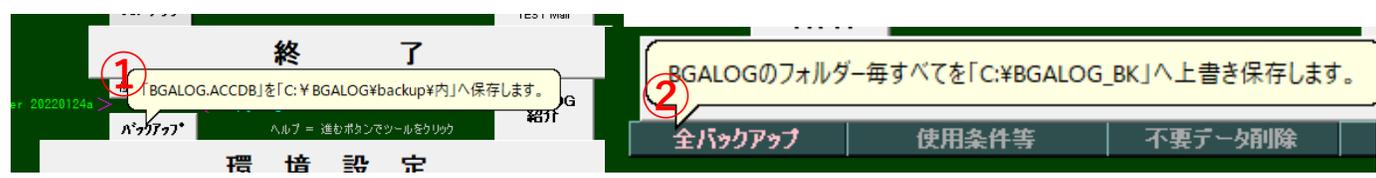
**赤文字**部分、RTCはJA4BUA桑原OMの作成です。

部分のみ手動切替え

## バックアップと回復

BGALOGは [C:¥BGALOG¥BGALOG.ACCDB] がメインのデータです。

このデータをバックアップしておけば復帰は「C:¥BGALOG¥」フォルダーへ上書きするとその時点のデータに戻ります。



## バックアップの方法

### ・ 手動バックアップ

①②でバックアップできます。

### ・ 自動バックアップ

③ 各自の指定した場所に日付変更時（0時）に自動保存

④ 「C:BGALOG¥Dayback」内に終了時の日付「01⇒02⇒03⇒・・・⇒31」のフォルダ内に自動的に [BGALOG.ACCDB] が作成されます。

★ 日付変更時の自動保存  
23:59:59 秒にBGALOGが起動していた場合には指定場所へ自動保存します。  
0 = 未実施  
その他のドライブ名記入 = 保存

次の様に月を記載しないで日付を付与し上書き保存  
当方の設定例  
テキスト欄への記入例 : D:¥BACKUP日付別  
実際の保存先例 : D:¥BACKUP日付別¥01\_BGALOG.ACCDB  
※ ドライブの「:¥」(コロン、¥)の記入が必須です。

記入例:  
C:¥BACKUP : 別のドライブへ保存の例  
E:¥ : USBへ保存の例

③ D:¥BACKUP日付別

**最重要  
ファイル**



登録分DT.TXT  
はその日の登録  
内容

## 復旧の方法

選択した [BGALOG.ACCDB] を



[C:¥BGALOG¥BGALOG.ACCDB]



毎日の日付のフォルダー内に [BGALOG.ACCDB] [登録分DT.TXT] が終了時に自動で作成されます。日付のみで作成され日付のみで上書き保存されています。1か月未満であれば終了日時の日付のデータが残っています。

**ミスの有った直前の日付で復旧可能**

強制切断ファイルが壊れた  
操作ミスでファイルが消えた  
不要なデータをインポート  
複合検索 & 書換処理に失敗



**C:¥BGALOG¥BGALOG.ACCDBへ**

**上書きで一発修正**

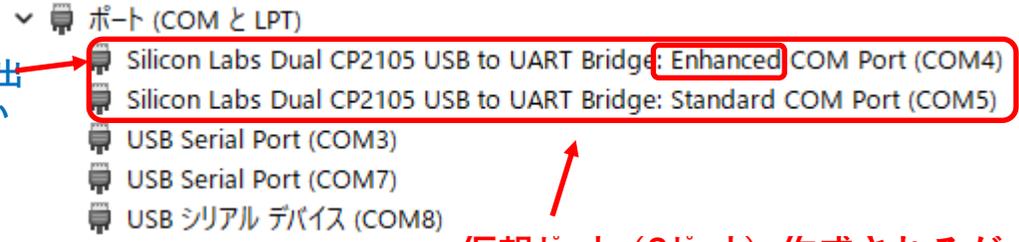
# COMポートが1つしか無い無線機でのFT8やCW、SSB、等をコントロールする方法の提案

FT8を行うには次の様にCOMポートが必要となります。

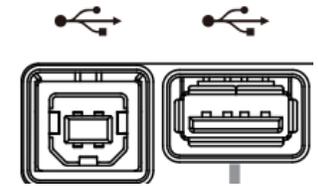
COMポートは先取り者優先となり共有が出来ません。

- ・ BGALOG：リグのコントロール（周波数、モードのやり取り）
- ・ FT8：リグのコントロール（周波数、モード、PTTのやり取り）

周波数をコントロール出来るポートが1つしかない



仮想ポート（2ポート）作成されるが1つはリグのマウス、キーボード専用



図の例：(FT-710) 1USBのみが利用可

当方はCOM3をRS232CにつないでJTDXと連携させています。

1つのポートを2つに増やす：仮想COMポートのインストール

BGALOG及びJTDX（WSJT）の双方からコントロールするには

## 対応方法

### 1 市販プログラムで仮想ポートを増やす。

- ・ その他「RS232C」が使用できる機器、「CI-V(アイコム)」がある機種については、既に記載しているページを参照してください。
- ・ 「com0com」インストールでポートを増やす。（次ページ）

### 2 手間であるがモード別に使い分けて使用する

- SSB、CW、RTTY
- ・ JTDXを起動しない。

### FT8(4)

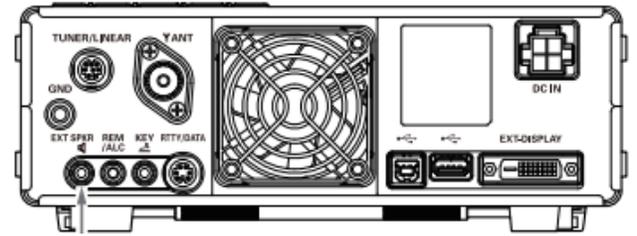
JTDX等使用時については、BGALOGは無線機を使用しないに設定



- Enhanced COM Port：CAT 通信（トランシーバーの周波数や通信モードなどの設定や制御）
- Standard COM Port：TX 制御（PTT、CW キーイング、FSK 制御）

### 3 BGALOGについてはリグコントロールは行わない。

切替が煩わしい場合は割り切ってBGALOGからのコントロールは使用しないに設定



## 注意：

JTDXが取り込んだ「データ、交信済コールサインの自動取込」についてはPCのポート(2333)経由で取り込みますの影響はありません。

## 仮想COMポート新規作成（テスト状況報告）

### 仮想シリアル(COM)ポートドライバ「com0com」によるシリアル通信

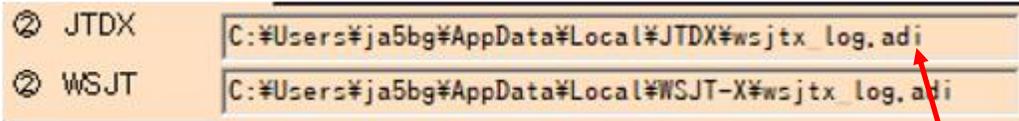
[リンク先⇒「（仮想シリアル\(COM\)ポートドライバ「com0com」によるシリアル通信 - Qiita）」](#)  
ここに接続して内容を理解してください。

- ▼  ポート (COM と LPT) **インストール前は (com 4) で使用中**
-  Silicon Labs Dual CP2105 USB to UART Bridge: Enhanced COM Port (COM4)
  -  Silicon Labs Dual CP2105 USB to UART Bridge: Standard COM Port (COM5)
  -  USB Serial Port (COM3)
  -  **USB Serial Port (COM7)** **J T D X で使用中**
  -  USB シリアル デバイス (COM8)

# JTDX、WSJTのデータマージ (BGALOGから出力し整合を図る)

BGALOGのデータからJTDX、WSJTへマージしたデータを送る方法  
それぞれ個別のデータを作成してしまいますのでデュープなどが一目瞭然とならず、  
BGALOGとの三者が不一致となります。  
これをBGALOGのデータにより1本化したものをそれぞれのフォルダーにコピーします。

① JTDX、WSJTのフォルダー名を事前に正確に確認して次に書き込みます。



確認方法 (JTDXの例) : ファイル選択

- 1 ログディレクトリーを開く
- 2 WSJTX\_LOG.ADIを右クリック (パスのコピーを選択実施)
- 3 ②JTDXのテキスト欄に貼り付け ⇒ **“C:\Users\ja5bg\AppData\Local\JTDX\wsjtx\_log.adi”**  
赤いアドレス部分のみを貼り付け

② JTDX、WSJT マージ ログデータ「wsjtx\_log.adi」の作成 ボタンをクリック

作成確認で確認します。(進捗状況終了後に③クリックで終了です。)

③ 環境登録 & 作成DT上書 上記作成DT & アドレスを登録  
上記アドレス ⇒ 環境ファイルへ登録  
作成データ ⇒ JTDX、WSJT  DT未削除

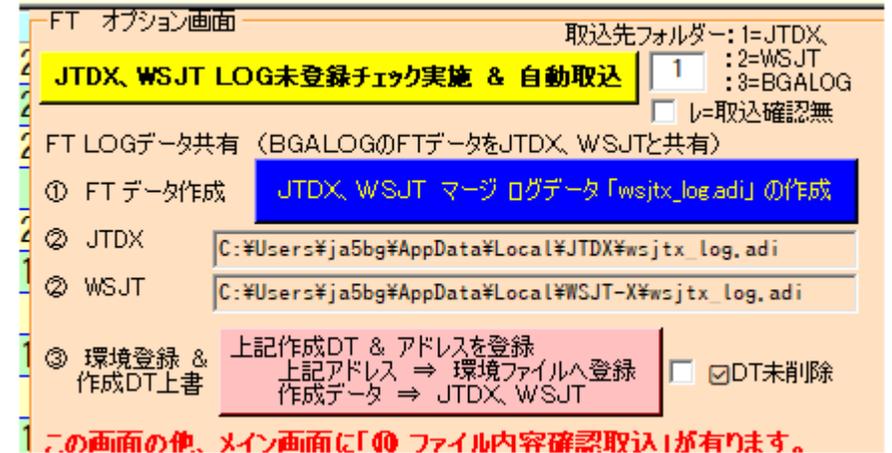
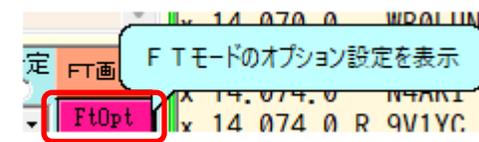
上記②の各フォルダーへマージした「wsjtx.log」を書き込みます。  
正しくない場合は書き込みエラーとなります。  
実施後は、BGALOGフォルダー内の「wsjtx.log」を削除します。

確認後不要ファイル wsjtx .log 777,952

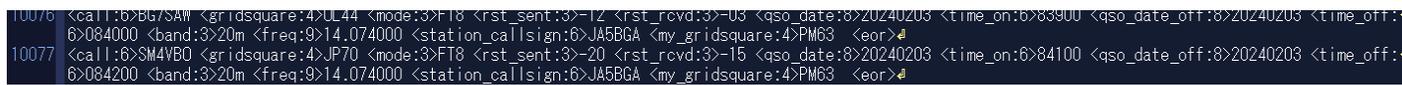
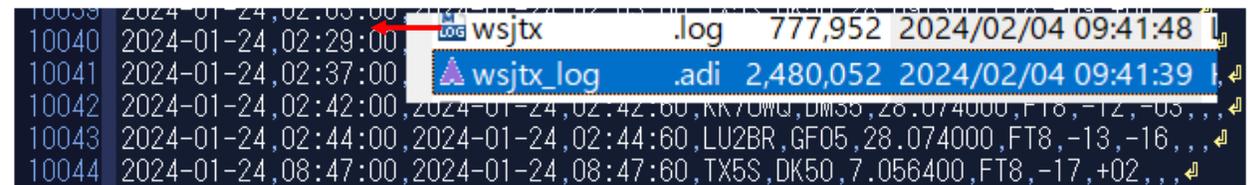
以上でエラーが無ければ完了です。

## 実施時の注意事項

JTDX、WSJT は終了させてから実施してください。  
アドレスの記載誤りが有るとエラーとなります。  
BGALOGに未登録のデータが有る場合は次ページ



作成したファイル (日付を確認し終了)



## JTDX、WSJTの未登録データをBGALOGに取り込む

JTDX、WSJTからBGALOGへ取りこぼしたものを取り込む方法

通常はないと思いますが、もし取りこぼしが有る場合は次により取り込めます。

02/04 10:23 14,202,0 SSD VE/UI DC U

02/04 ★ BGALOGへ未取込のデータを抽出取込 ★

02/04 右の指定フォルダーからBGALOGに未取り込みのデータを取り込みます。

02/04 注意：

02/04 通常のADIFファイルからの取り込みは次より取り込んでください。

02/04 このツールは個別にデュープチェックをしながら取り込みが実施されます。

02/04 (時間が非常にかかります。)

02/04 メイン画面 ⇒ ツール ⇒ 外部ソフトからのインポート

P | FT オフライン画面

取込先フォルダー: 1=JTDX、  
: 2=WSJT  
: 3=BGALOG  
 4=取込確認無

**JTDX、WSJT LOG未登録チェック実施 & 自動取込**

デュープチェックを1件ずつ行いながら取り込みますので非常に時間がかかります。  
(大量の場合は時間単位となり、開始後はストップできません)  
低能力のPCではお勧めできません。